

宇都宮市統計書

令和7年版

統計グラフ編

宇 都 宮 市

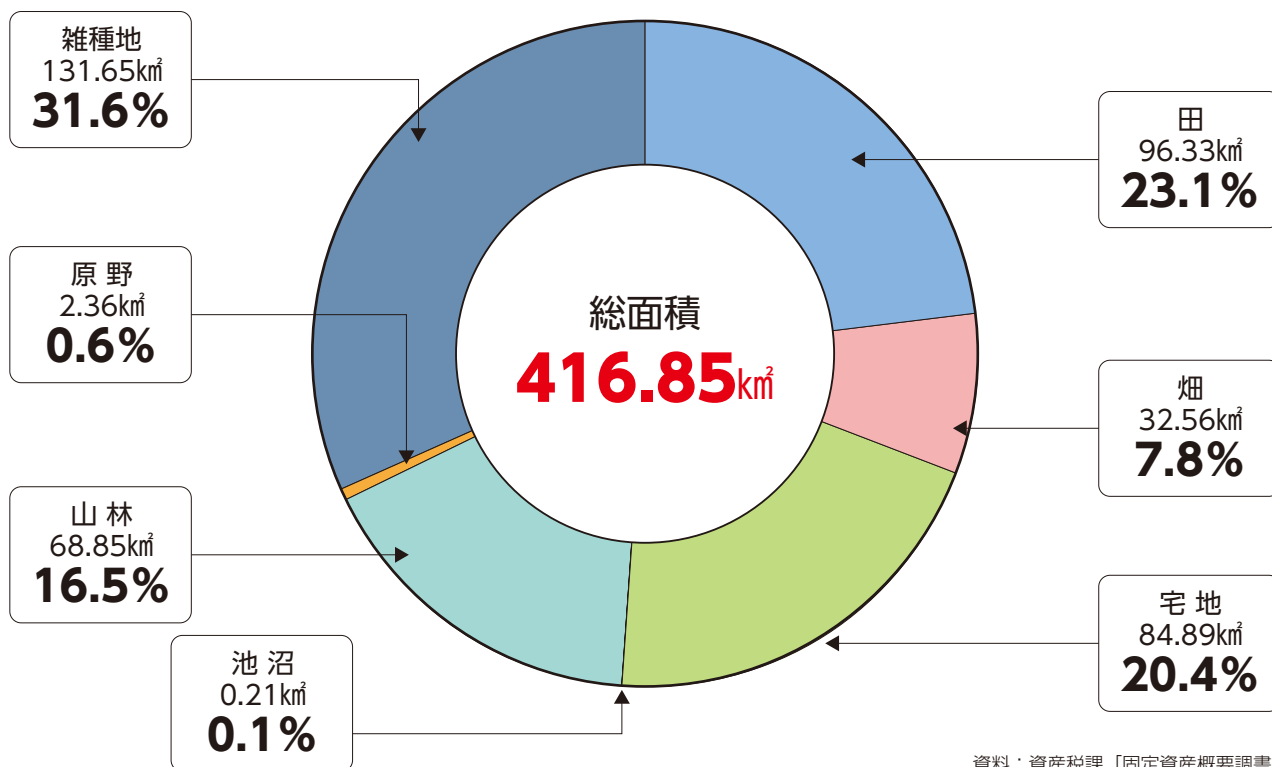
令和8年4月印刷／発行

目 次

第 1 章 土地・自然	1
第 2 章 人口	2
第 3 章 事業所	17
第 4 章 工業	17
第 5 章 商業・観光	18
第 6 章 農業	18
第 7 章 通信・運輸	19
第 8 章 市民生活	19
第 9 章 清掃・環境	20
第10章 子育て・教育・文化	21
第11章 労働	22
第12章 建設・住宅	22
第13章 災害・治安・司法	23
第14章 財政	24

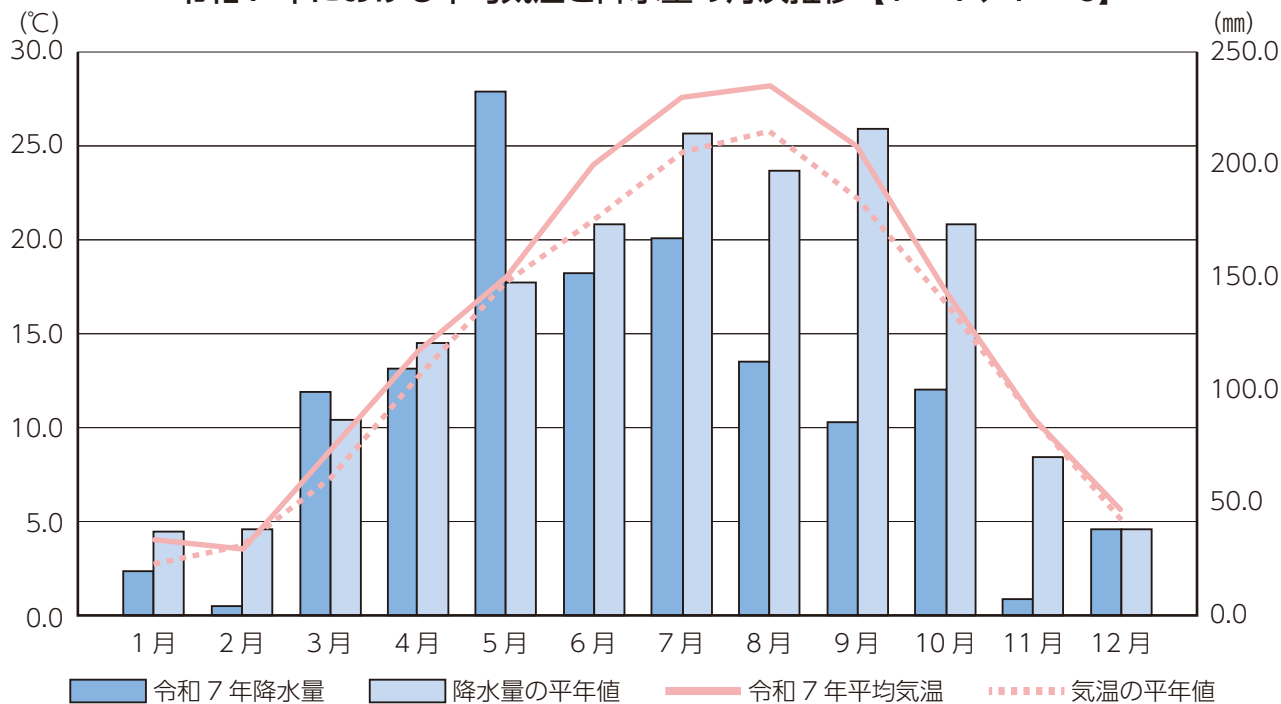
- 本書は、「宇都宮市統計書（令和7年版）」（以下、「統計書」という。）に掲載するデータの一部をグラフ化し、解説などを付した同書の別冊です。
- 本書は、「統計書」の内容をより分かりやすく表現することを目的としています。このため、掲載されたグラフの元となるデータについては、原則としてすべて「統計書」に掲載されたものを使用しています。
- ただし、一部のグラフは「統計書」掲載のデータをさらに集計、加工したデータ等を利用している場合があります。
- 各グラフのタイトル末尾には、【 】内に数字が記載されています。これは、それぞれのグラフの元となった「統計書」の表番号を表すものです。また、本書の章名称は、「統計書」と同一です。
例）「地目別土地面積の構成比（令和7年）【1-3】」
＝「地目別土地面積の構成比（令和7年）」のグラフは「統計書」の「1-3」のデータをグラフ化したもの
- グラフの元となったデータを確認したい場合には、この章立てと表番号をたよりに「統計書」をご覧ください。

地目別土地面積の構成比（令和 7 年）【1 - 3】



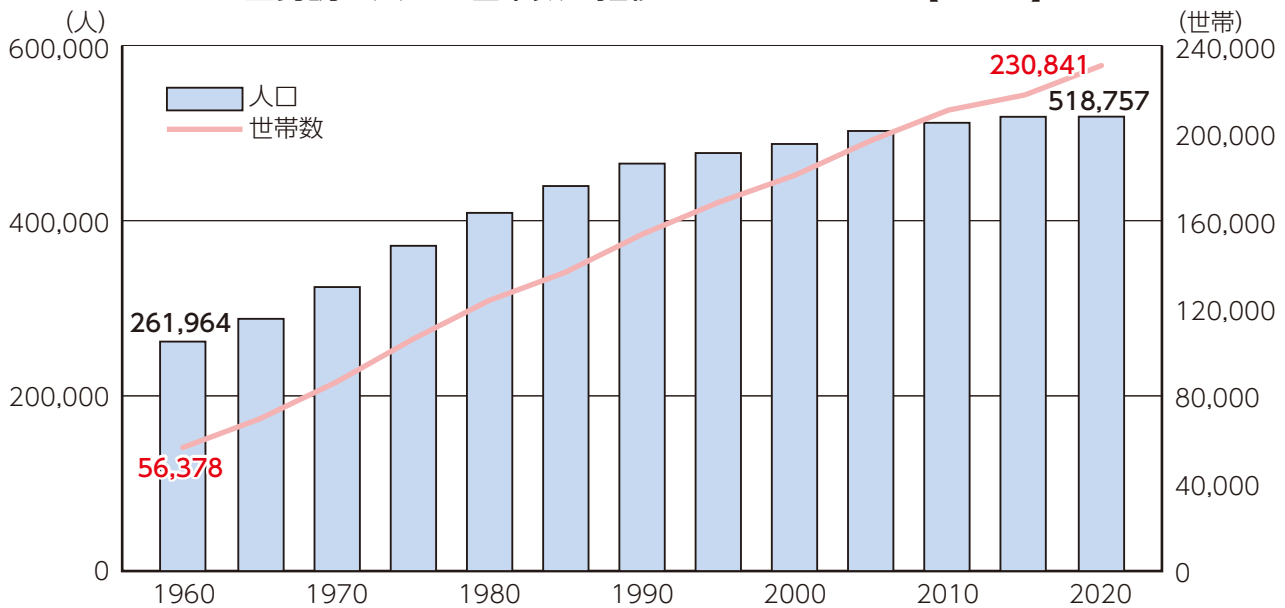
●宇都宮市の土地面積を地目別に表したもの

令和 7 年における平均気温と降水量の月次推移【1 - 7、1 - 8】



- 令和 7 年における平均気温と降水量の月次推移をグラフ化したもの
- 平年値（平成 3 年（1991）から令和 2 年（2020）の平均値）と比較すると、年間を通じて平均気温が高く、5 月の降水量が多かったことがわかる。

国勢調査人口・世帯数の推移 (各年 10 月 1 日現在) 【2 - 2】

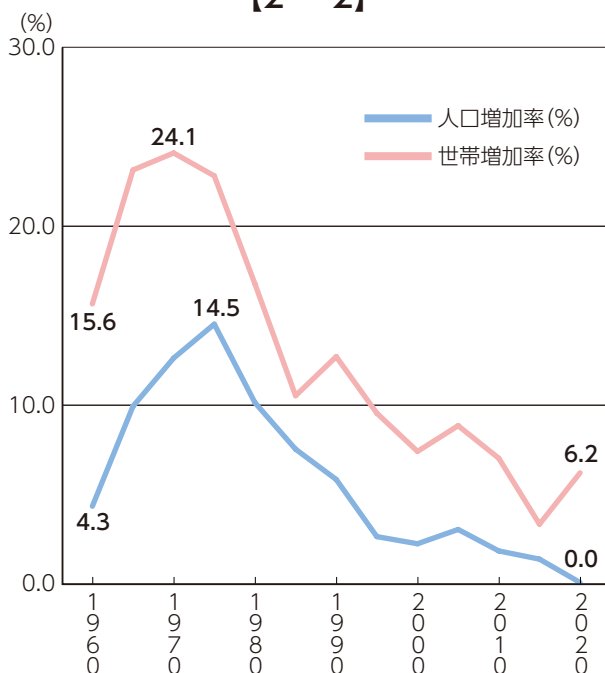


資料：総務省（国勢調査）

- 国勢調査の結果から、本市の人口推移をグラフ化したもの
- 当グラフでは令和 2 年（2020）時点でもなお人口が増加傾向にあるように見えるが、推計人口（※）ベースですでにピークを過ぎ、減少局面にあることに注意が必要（【参考グラフ】参照）

※推計人口とは…国勢調査の人口を基準に、住民基本台帳で把握する毎月の自然動態（出生と死亡）と社会動態（転入と転出）を加減して人口を推計したもの（住民基本台帳の人口とは異なる。）。国勢調査が 5 年ごとの数値であるのに対し、推計人口は年ごとの数値をフォローできる。

国勢調査人口・世帯数増加率の推移 【2 - 2】



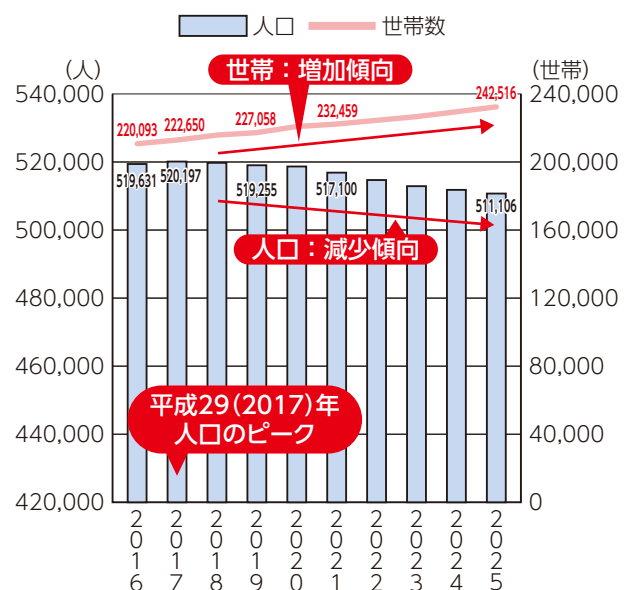
資料：総務省（国勢調査）

- 人口の増加率が令和 2 年（2020）には 0 になったのに対し、世帯の増加率は依然としてプラス圏内で推移している。

【参考グラフ】

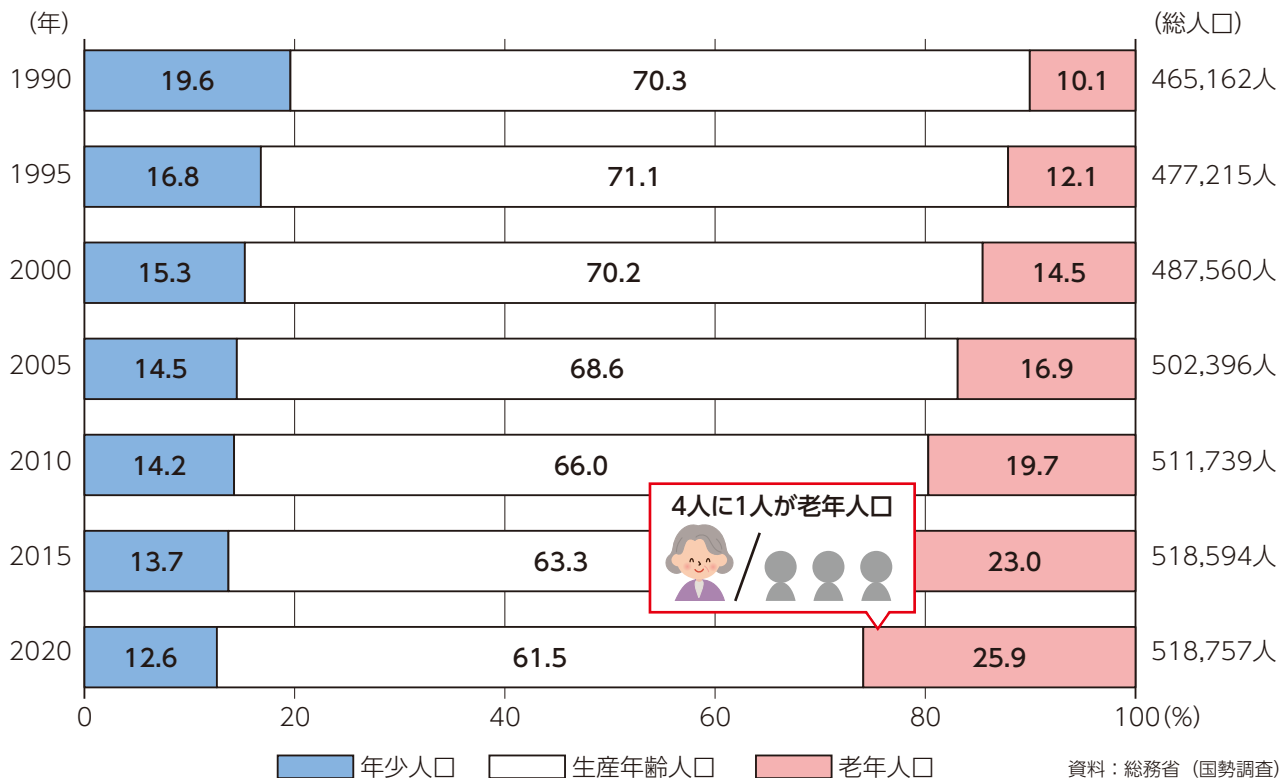
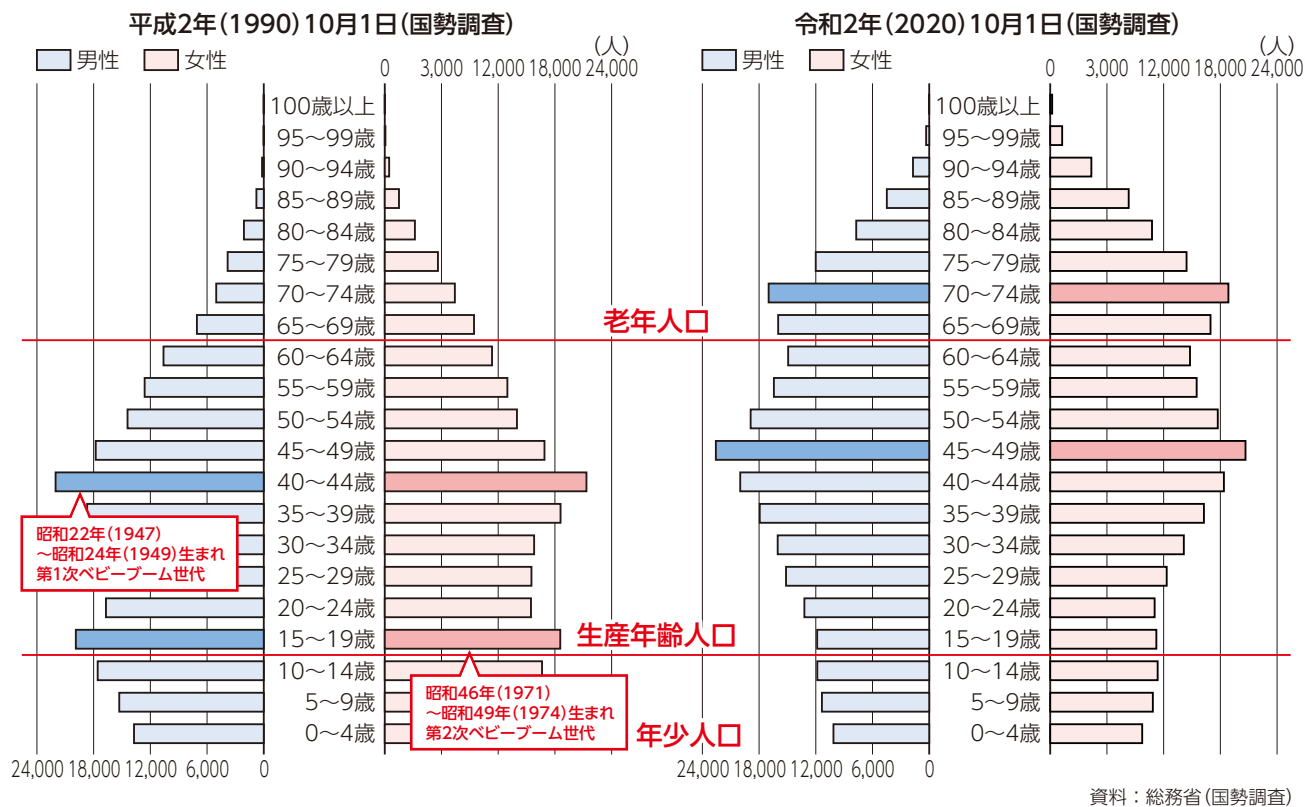
国勢調査と推計人口から見る

宇都宮市の人口のピーク (各年 10 月 1 日現在)



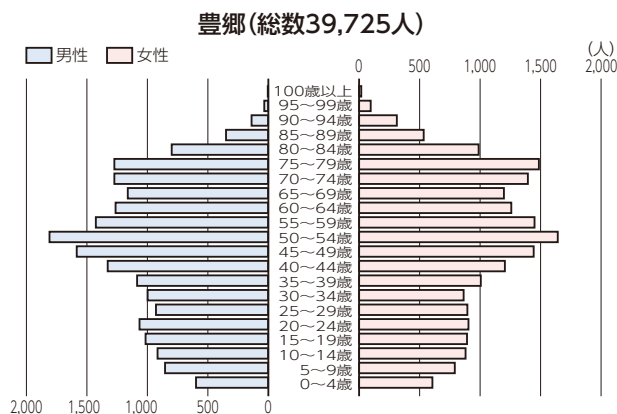
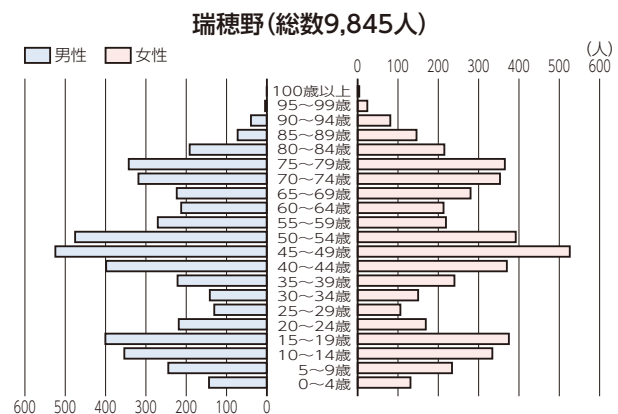
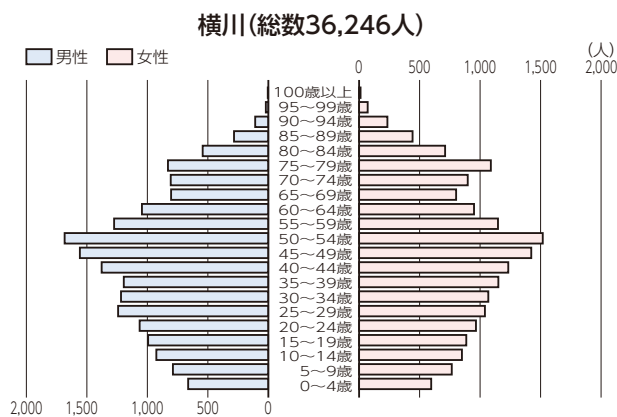
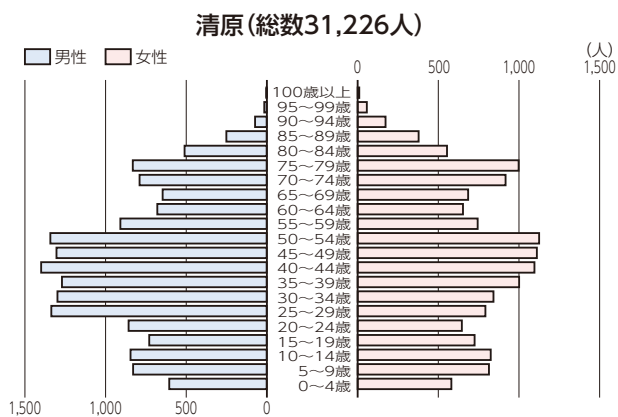
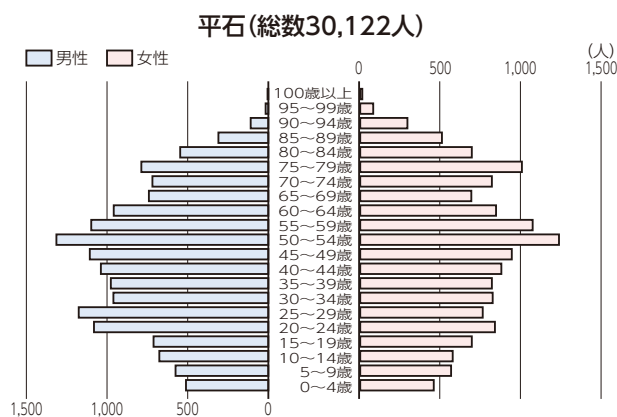
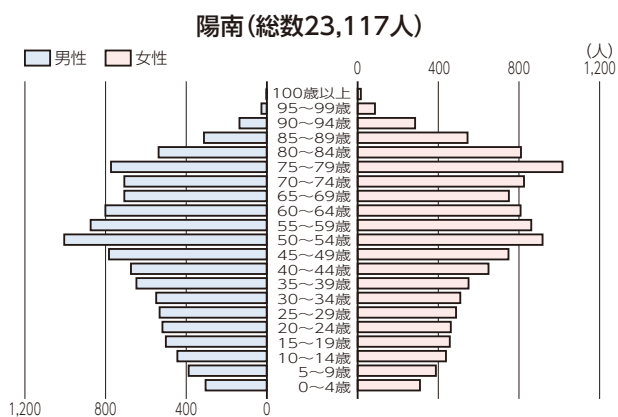
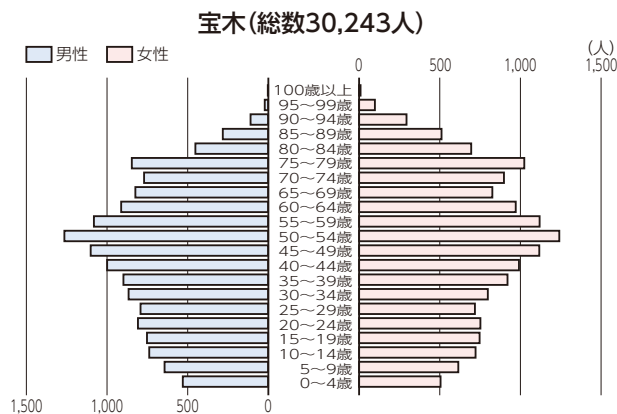
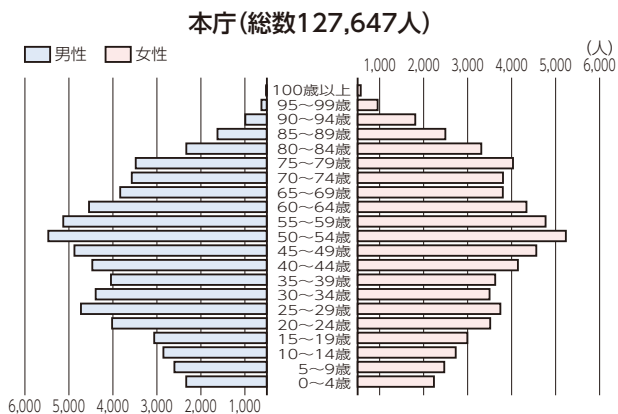
- ここ 10 年間の本市の人口推移をグラフ化したもの
- 本市の人口は平成 29 年（2017）にピークを迎え、すでに減少局面にある。一方で、世帯数は継続的に増加している。
- 出典：政策審議室（推計人口・世帯）、総務省（国勢調査）

本市の人口ピラミッドと年齢3区分別人口（国勢調査）の構成比推移【2-9、2-10】



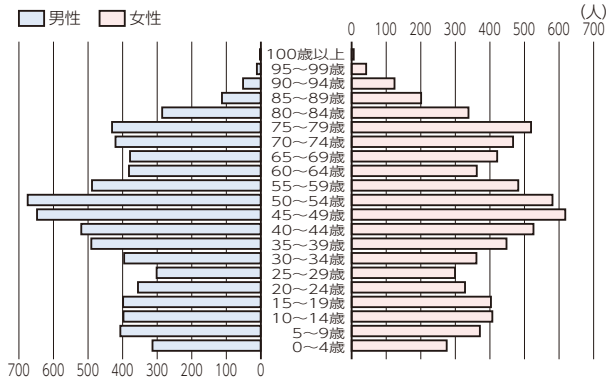
- 年少人口は0～14歳の人口、生産年齢人口は15～64歳の人口、老年人口は65歳以上の人口をいう。
- 平成2年(1990)時点では、老年人口よりも年少人口の構成比が高かったが、平成17年(2005)には構成比が逆転した。
- 令和2年(2020)時点では、老年人口の構成比が25.9%となった。(人口の4人に1人が65歳以上)

地区別人口ピラミッド（令和7年12月末時点住民基本台帳人口）【2－13】

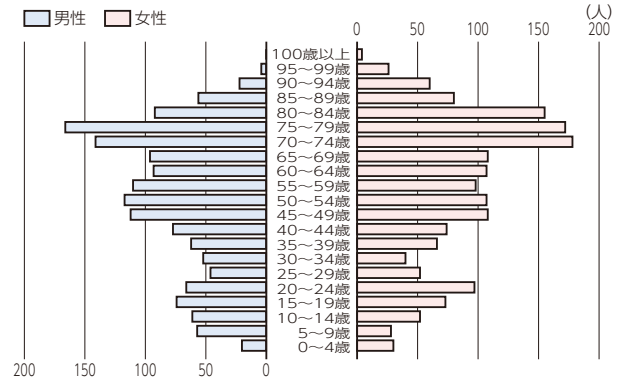


●地区別人口を年齢5歳階級の人口ピラミッドで表現したもの

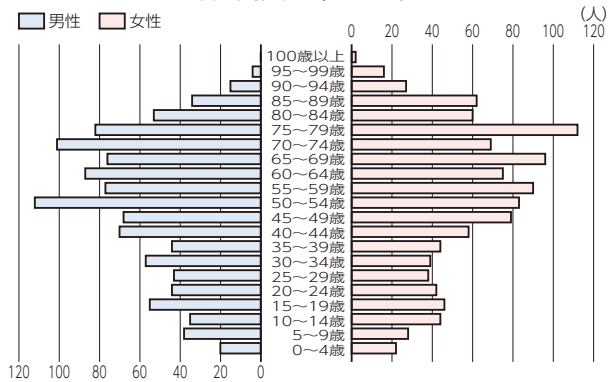
国本(総数15,032人)



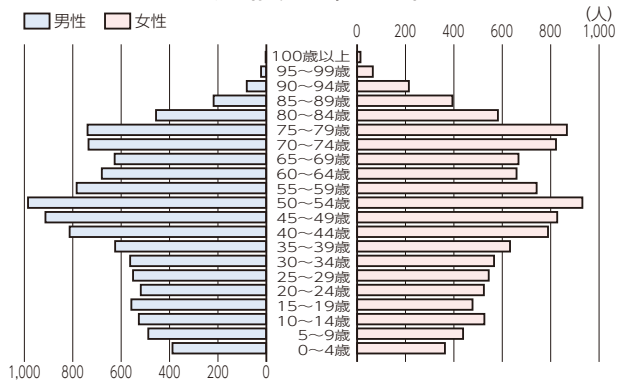
富屋(総数3,239人)



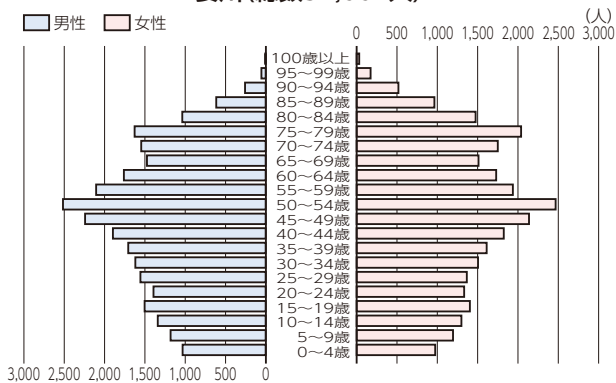
篠井(総数2,247人)



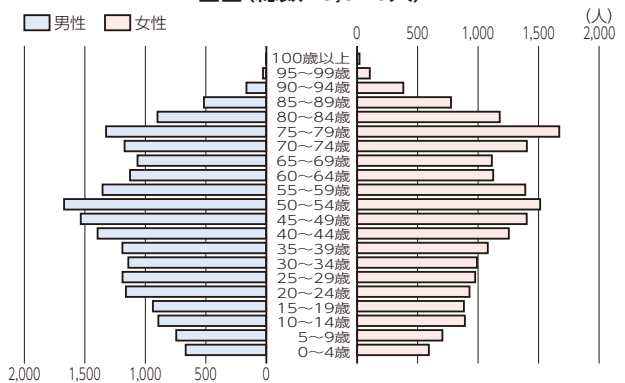
城山(総数22,897人)



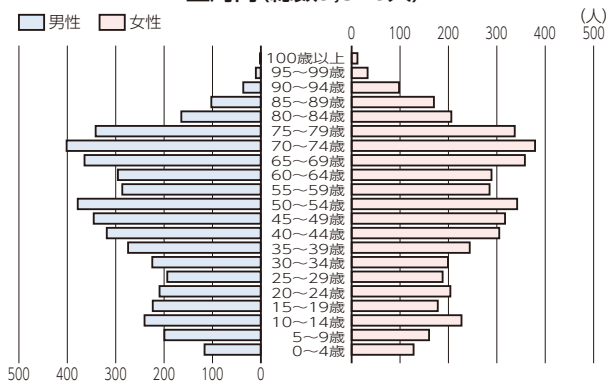
姿川(総数57,664人)



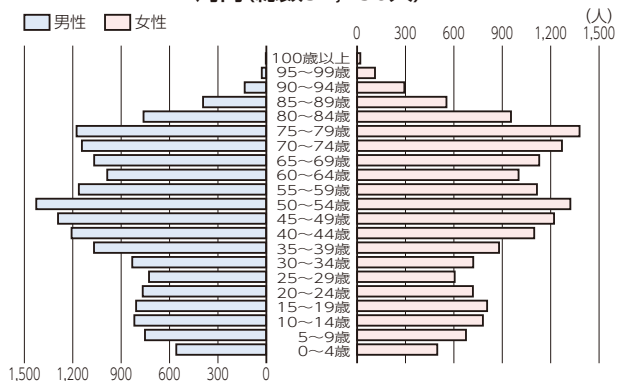
雀宮(総数40,520人)



上河内(総数9,378人)



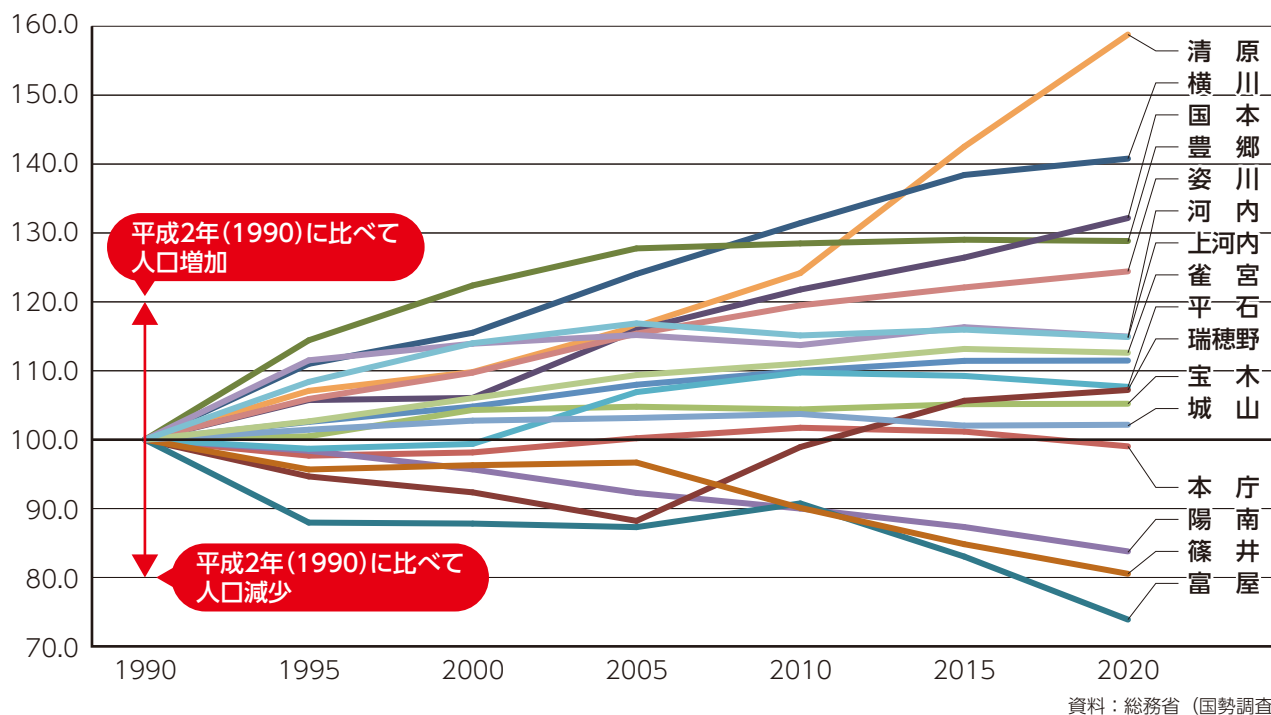
河内(総数34,230人)



資料：政策審議室（住民基本台帳）

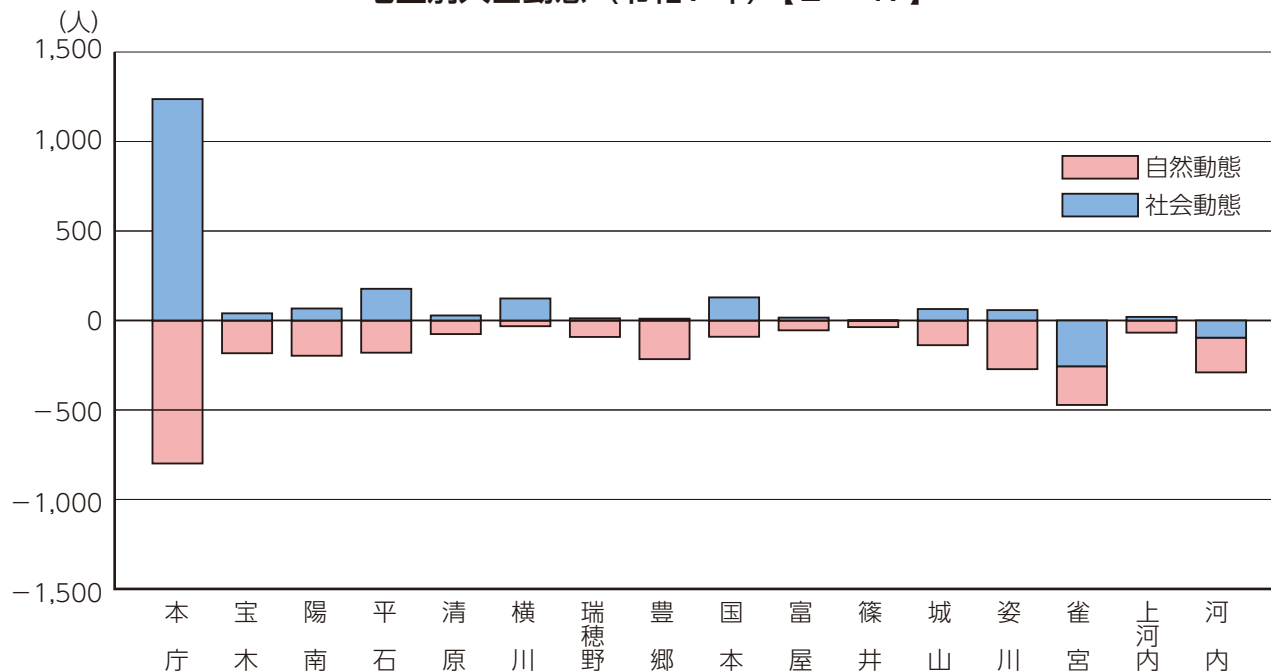
●地区別人口を年齢5歳階級の人口ピラミッドで表現したもの

地区別国勢調査人口（指数）の推移【2－6】



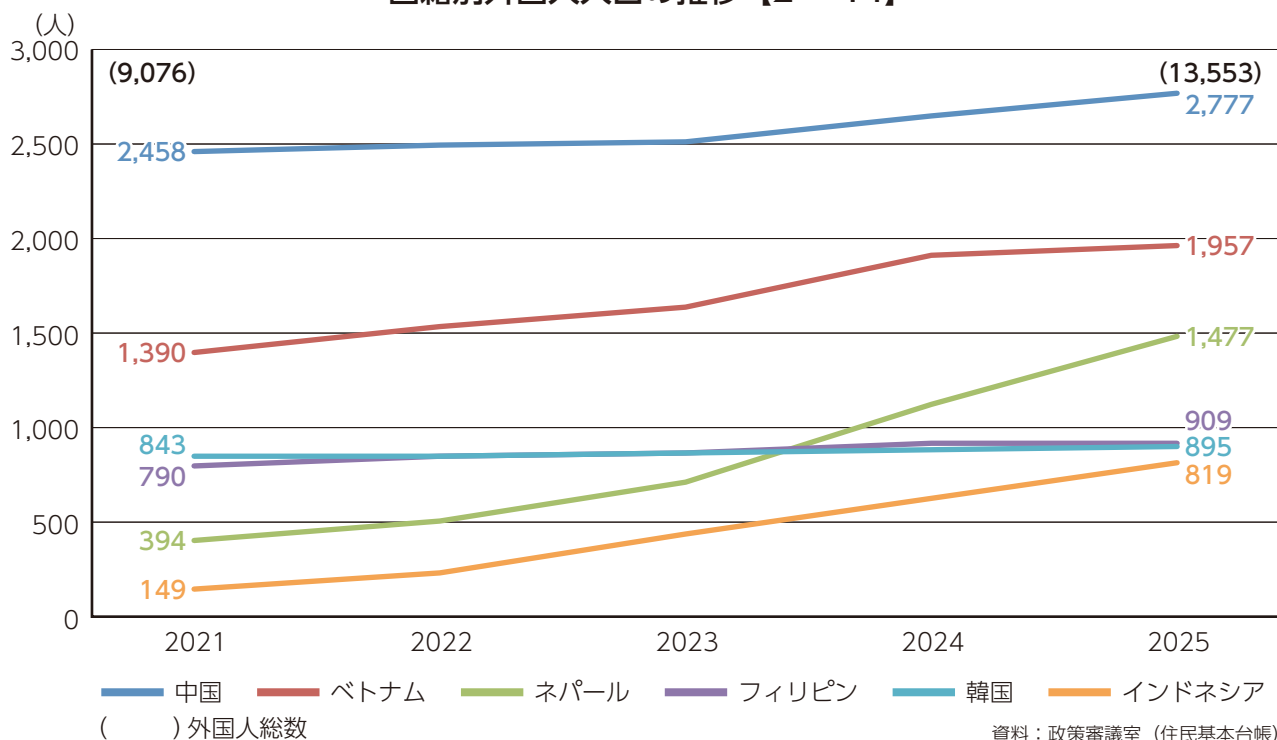
- 平成2年（1990）の各地区人口を100として、その後の人口推移を指数比較したもの
- 100を超えている場合は平成2年（1990）と比較して人口が増加している。100を下回る場合は平成2年と比較して人口が減少している。

地区別人口動態（令和7年）【2－17】



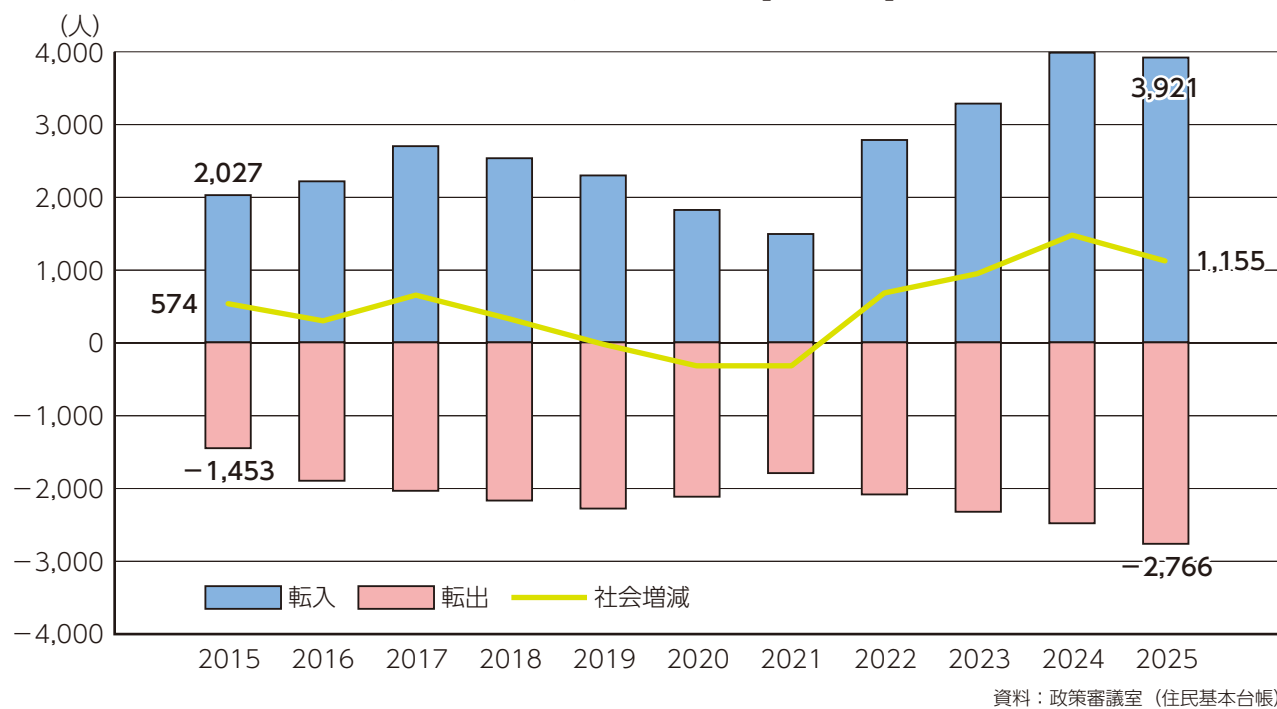
- 令和7年中における地区別の自然動態と社会動態を集計したもの
- 自然動態とは…出生と死亡に伴う人口の動きのことで、出生数から死亡数を減じることで算出する増減数のこと
- 社会動態とは…転入と転出に伴う人口の動きのことで、転入数から転出数を減じることで算出する増減数のこと
- 社会動態は地区により傾向が異なるが、自然動態についてはすべての地区でマイナス（自然減）となっている。

国籍別外国人人口の推移【2－14】



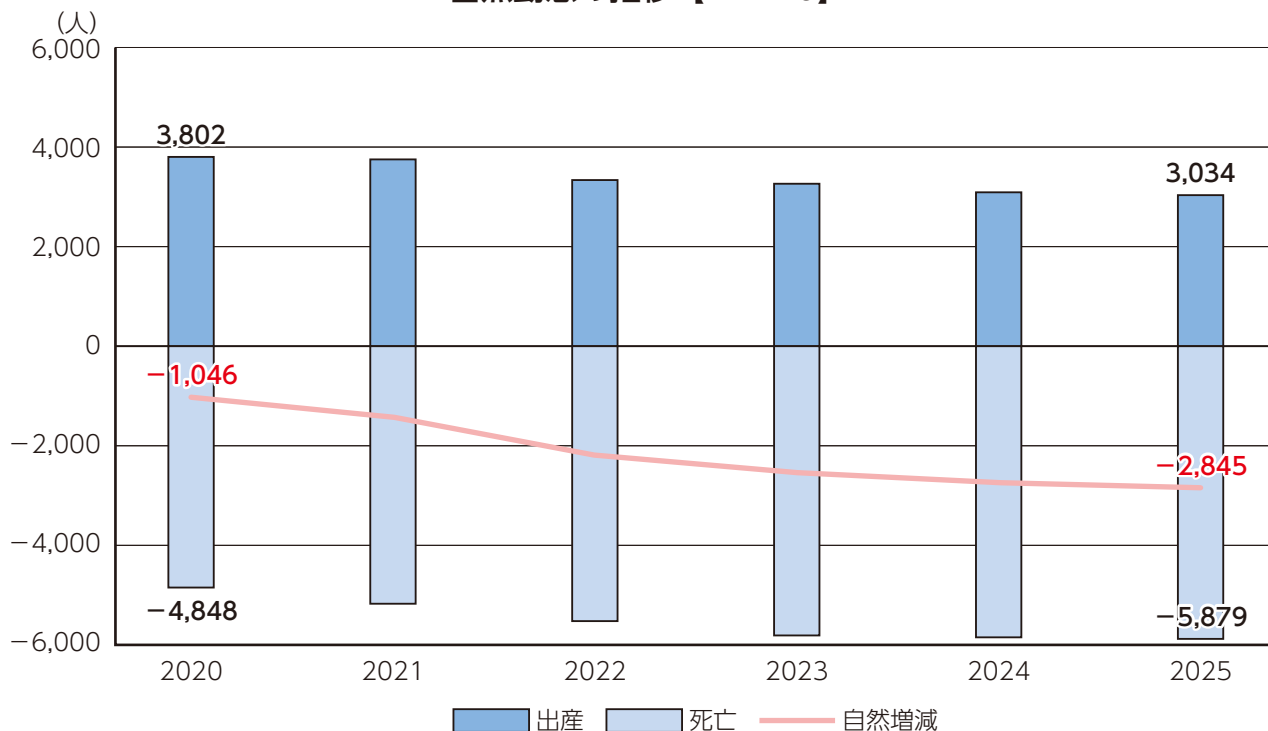
- 令和 7 年（2025）時点で外国人人口に占める構成比の高い上位 6 か国の人口について、5 年間の推移を集計したもの
- 令和 4 年（2022）から令和 7 年（2025）にかけて、ネパールとインドネシアの人口が増加している。
- ネパールは令和 3 年（2021）時点で上記 6 か国中人口が 5 番目だったが、令和 6 年（2024）には 3 番目に上昇した。

外国人の社会動態の推移【2－15】



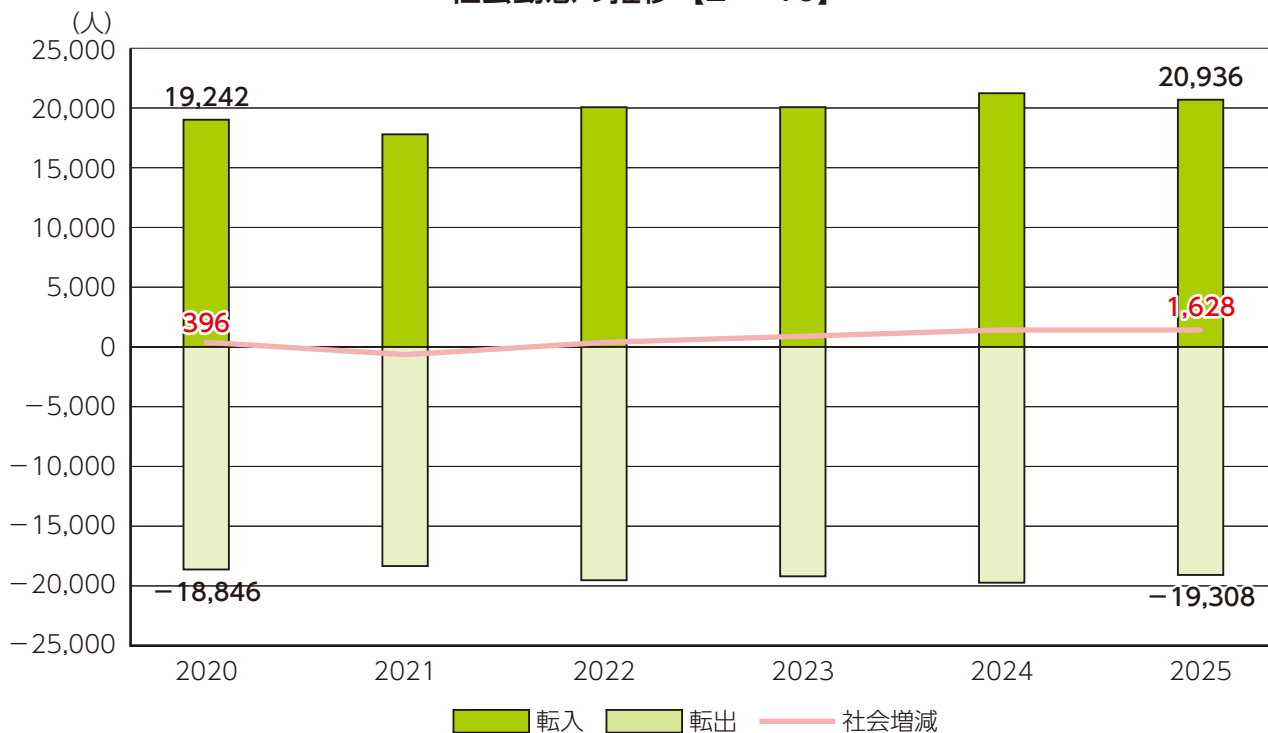
- 平成 26 年（2014）から社会増が続いているが、令和 2 年（2020）及び令和 3 年（2021）においては転入転出ともに件数が減り、社会減となった。
- 令和 4 年（2022）以降は再び転入転出件数が増加して社会増となり、令和 6 年（2024）の社会増はここ 10 年でもっとも高い水準になっている。
（転出数についてはグラフの表現上マイナスとしているが、元の数値は絶対値である。）

自然動態の推移【2 - 16】



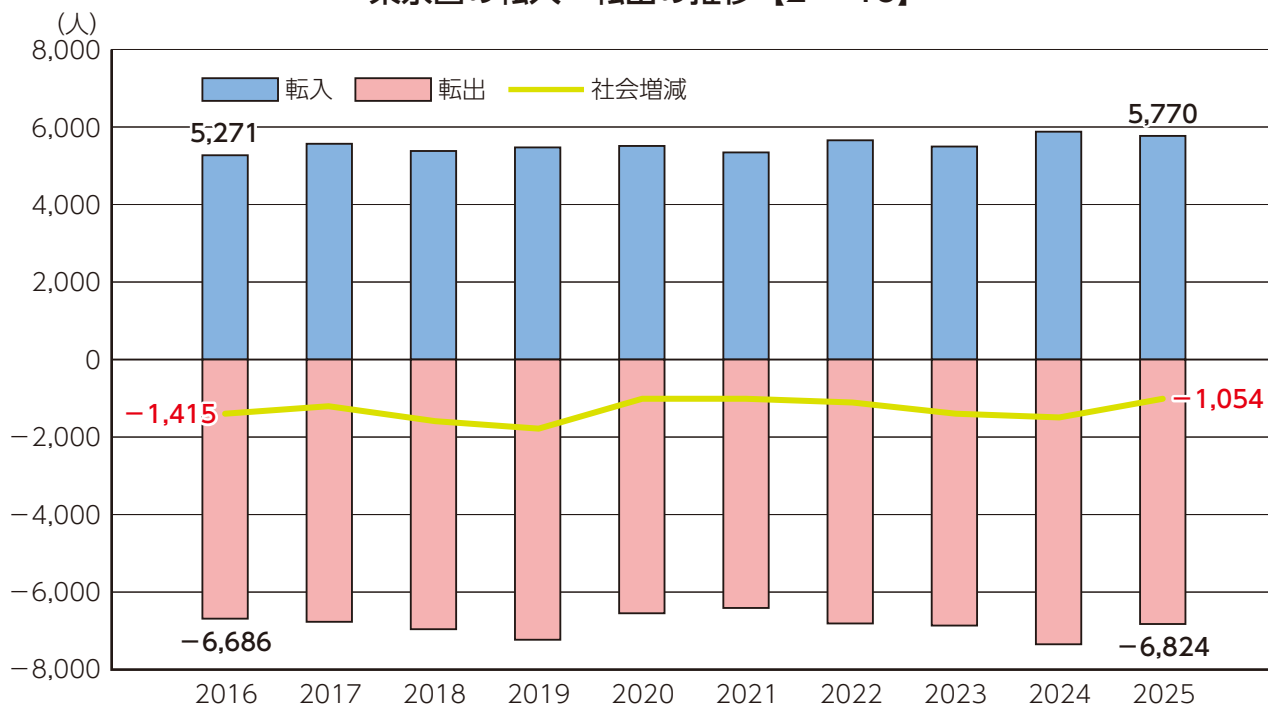
- 出生数が減少を続ける中で死亡数は増加を続けている。
- 死亡数が出生数を上回る状態（自然減）が続いている。
（死亡数についてはグラフの表現上マイナスとしているが、元の数値は絶対値である。）

社会動態の推移【2 - 16】



- 転入と転出は概ね拮抗している中、令和4年以降は転入が転出を上回る状態（社会増）が続いている。
（転出数についてはグラフの表現上マイナスとしているが、元の数値は絶対値である。）

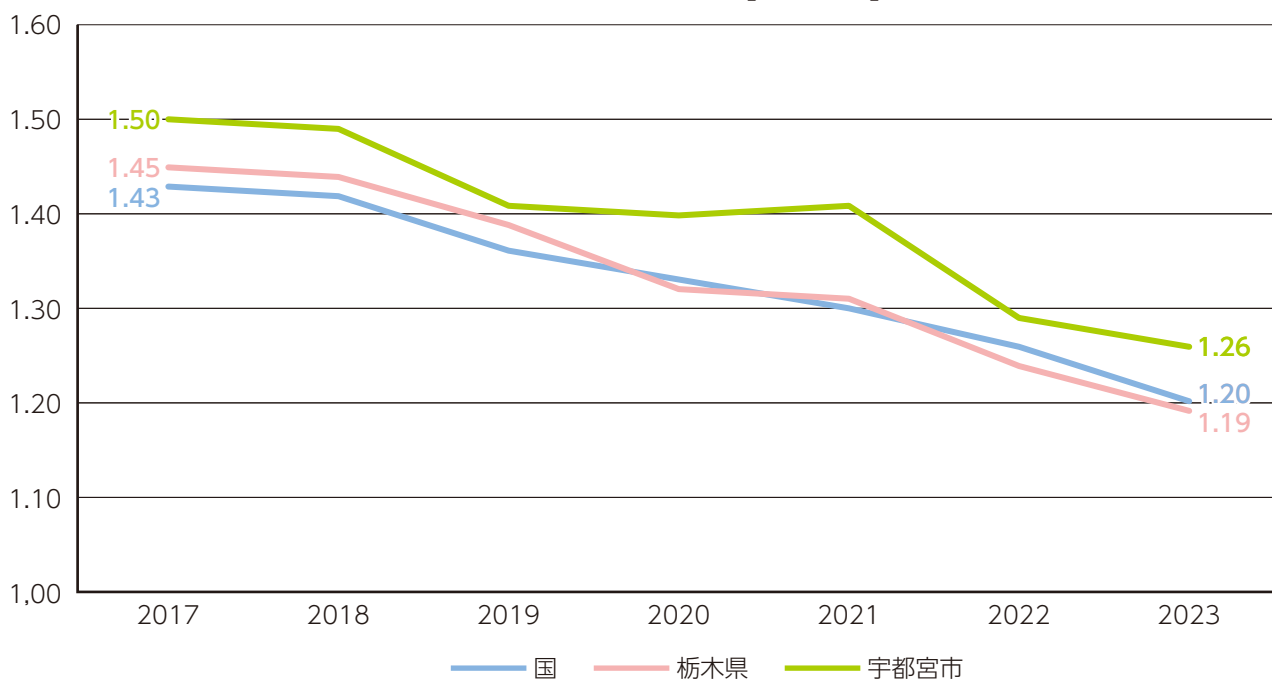
東京圏の転入・転出の推移【2 - 18】



資料：政策審議室（推計人口）

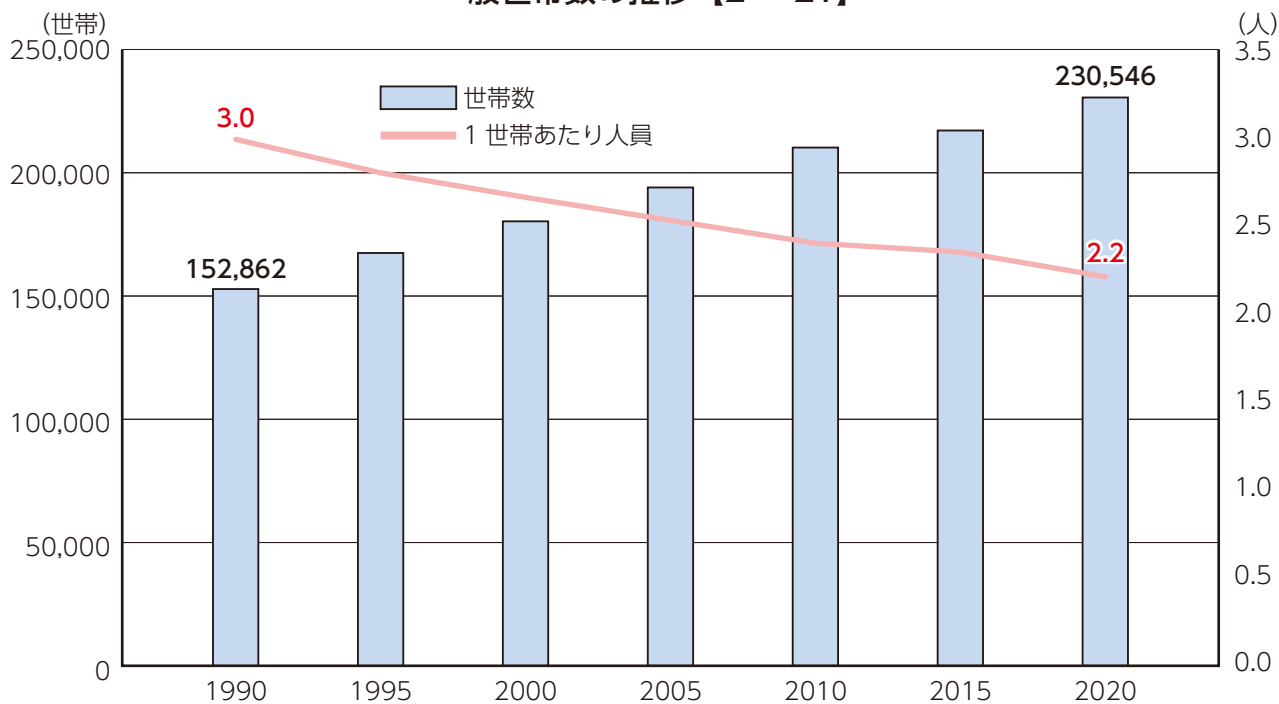
- 東京圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）から本市への転入と、本市から東京圏への転出数を集計したもの
- 転出数が転入数を上回る状態（社会減）が続いている。
（転出数についてはグラフの表現上マイナスとしているが、元の数値は絶対値である。）

合計特殊出生率の推移【2 - 20】

資料：厚生労働省「人口動態調査」
栃木県「栃木県保健統計年報」

- 合計特殊出生率とは…15歳から49歳の女性の年齢別出生率を合計したもの。1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で、一生の間に子どもを生むとしたときの子どもの数に相当する。
- 国、県、市のいずれも、合計特殊出生率は減少傾向にある。

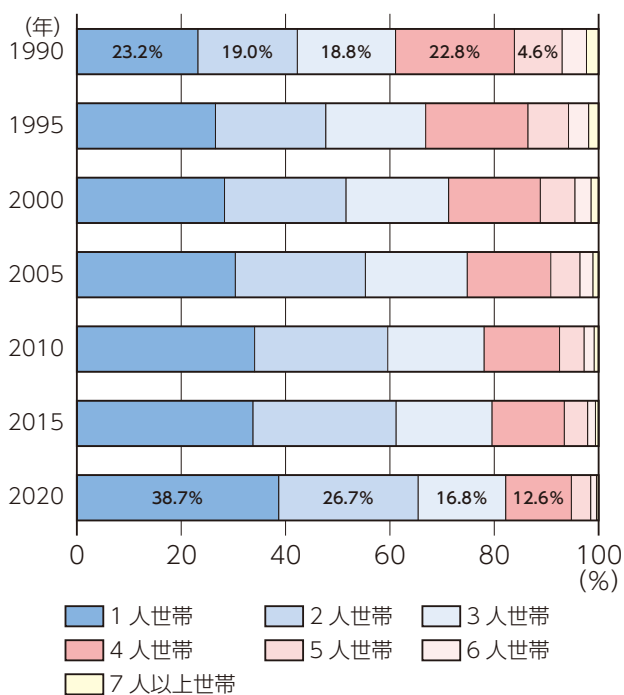
一般世帯数の推移【2 - 21】



資料：総務省（国勢調査）

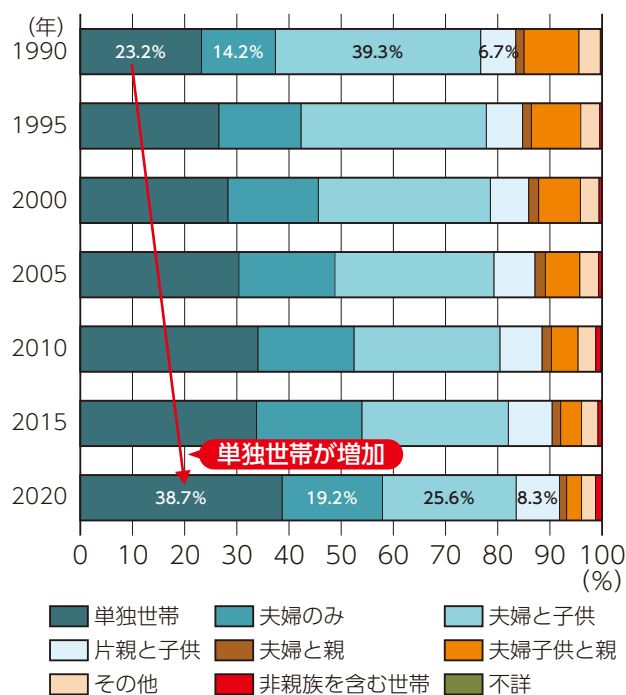
- 人口が減少する中で、世帯数は増加を続けている。
- 一世帯当たりの世帯人員は減少傾向にあり、世帯の単身化・少人数化が進行している。
- 一般世帯とは…「一般世帯」とは、「施設等の世帯」以外の世帯のこと。「施設等の世帯」とは、学校の寮の学生・生徒、病院などの入院者、社会施設の入所者などから成る世帯をいう。

世帯人員別一般世帯数（構成比）の推移【2 - 21】



資料：総務省（国勢調査）

世帯の家族類型別一般世帯数（構成比）の推移【2 - 22】

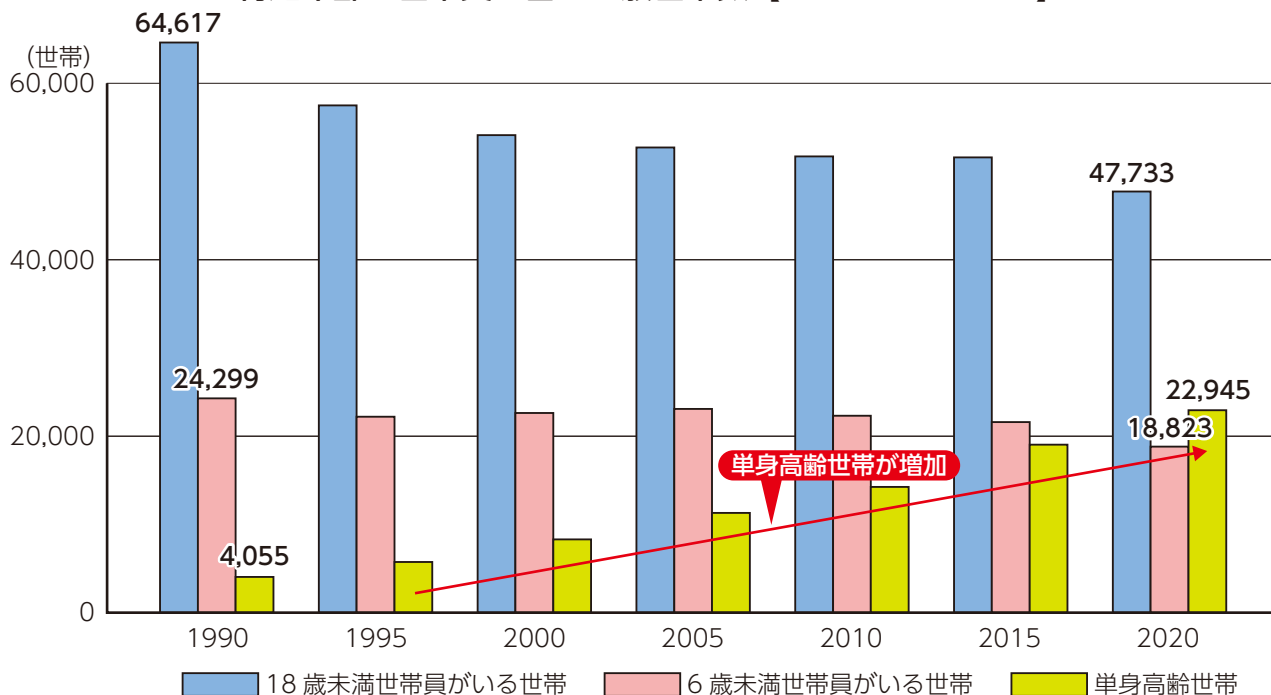


資料：総務省（国勢調査）

- 令和2年（2020）時点で、1人世帯または2人世帯が一般世帯の6割以上を占めている。

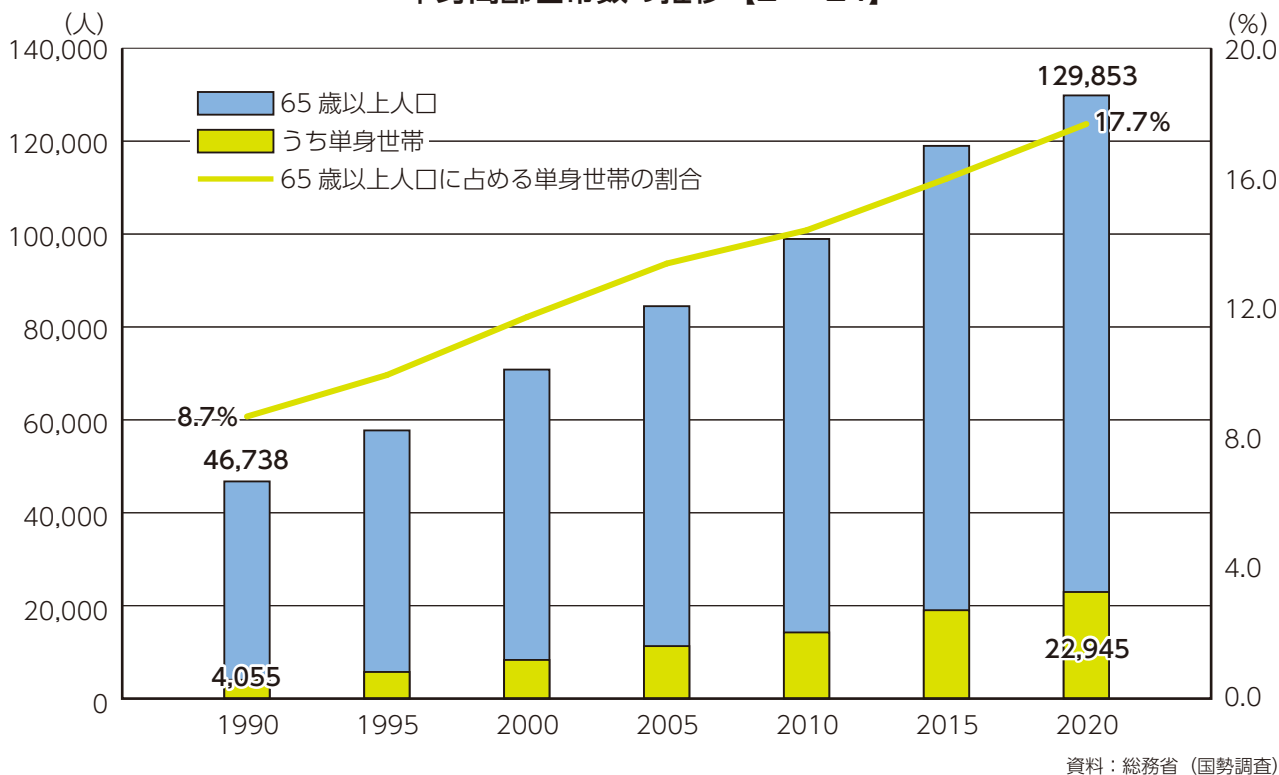
- 家族類型では、「単独世帯」（世帯員が1人の世帯）の割合が増加を続ける一方、「夫婦と子供」世帯の割合は減少を続けている。

特定年齢の世帯員を含む一般世帯数【2-23、2-24】



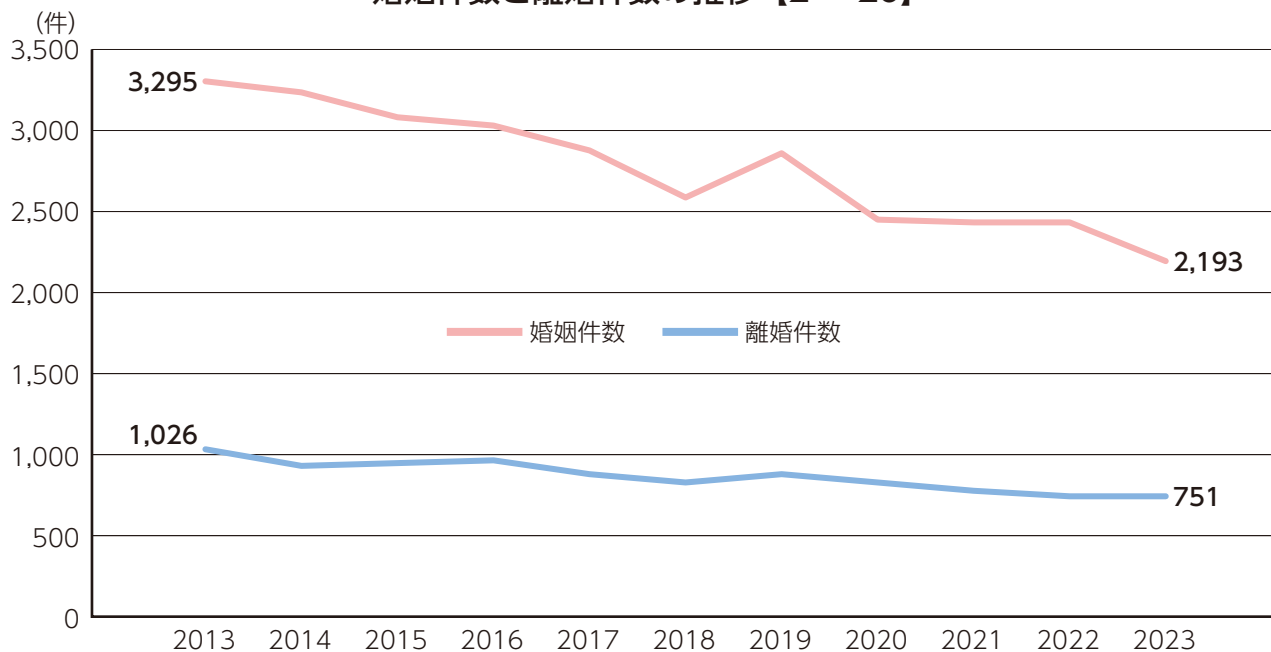
- 人口が減少する中で、18歳未満及び6歳未満世帯員がいる世帯数は減少を続けている。
- 一方、「単身高齢世帯」（世帯員が65歳以上の世帯員1人の世帯）の数は増加を続け、令和2年（2020）には6歳未満世帯員がいる世帯数を超过している。

単身高齢世帯数の推移【2-24】



- 単身高齢世帯が65歳以上人口に占める割合は増加を続けている。
- 令和2年（2020）には、65歳以上人口の5～6人に1人が一人暮らしをしている。

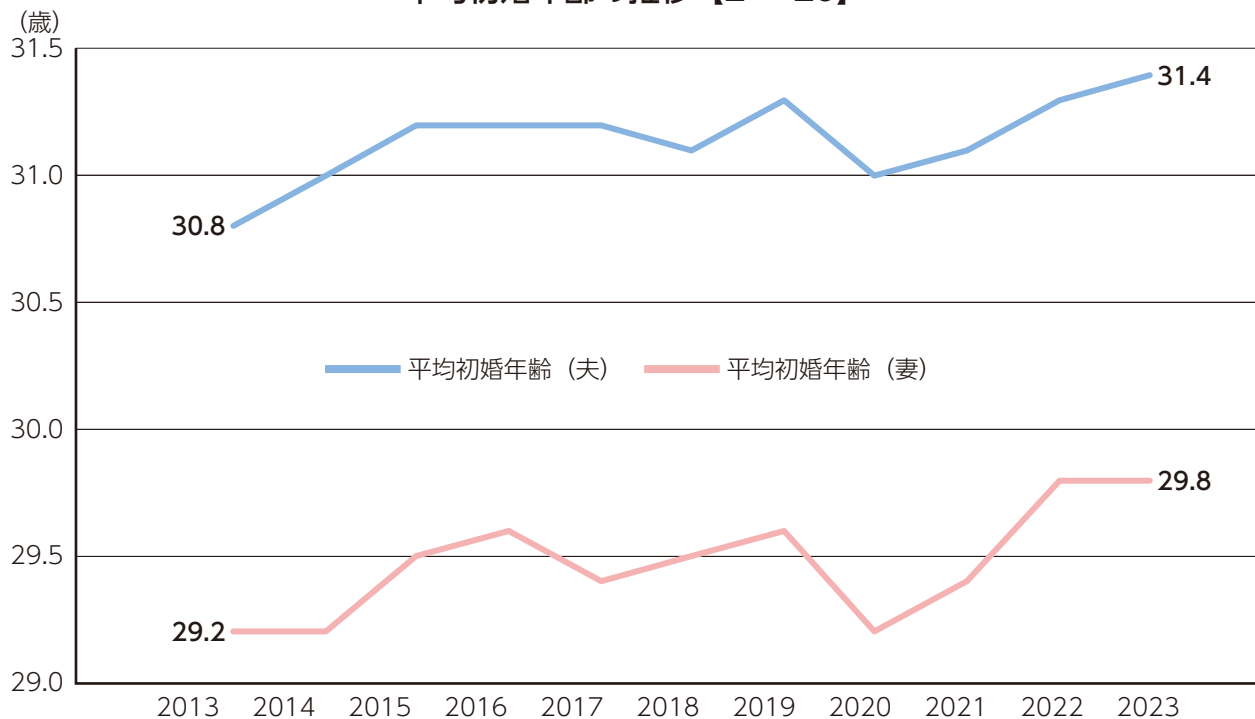
婚姻件数と離婚件数の推移【2 - 26】



資料：厚生労働省「人口動態調査」
栃木県「栃木県保健統計年報」

- 婚姻件数、離婚件数ともに減少が続いている。
- 婚姻件数について、令和元年（2019）にはいわゆる令和婚によるものと思われる一時的な増加がみられたが、コロナ以降は減少が続いている。

平均初婚年齢の推移【2 - 26】

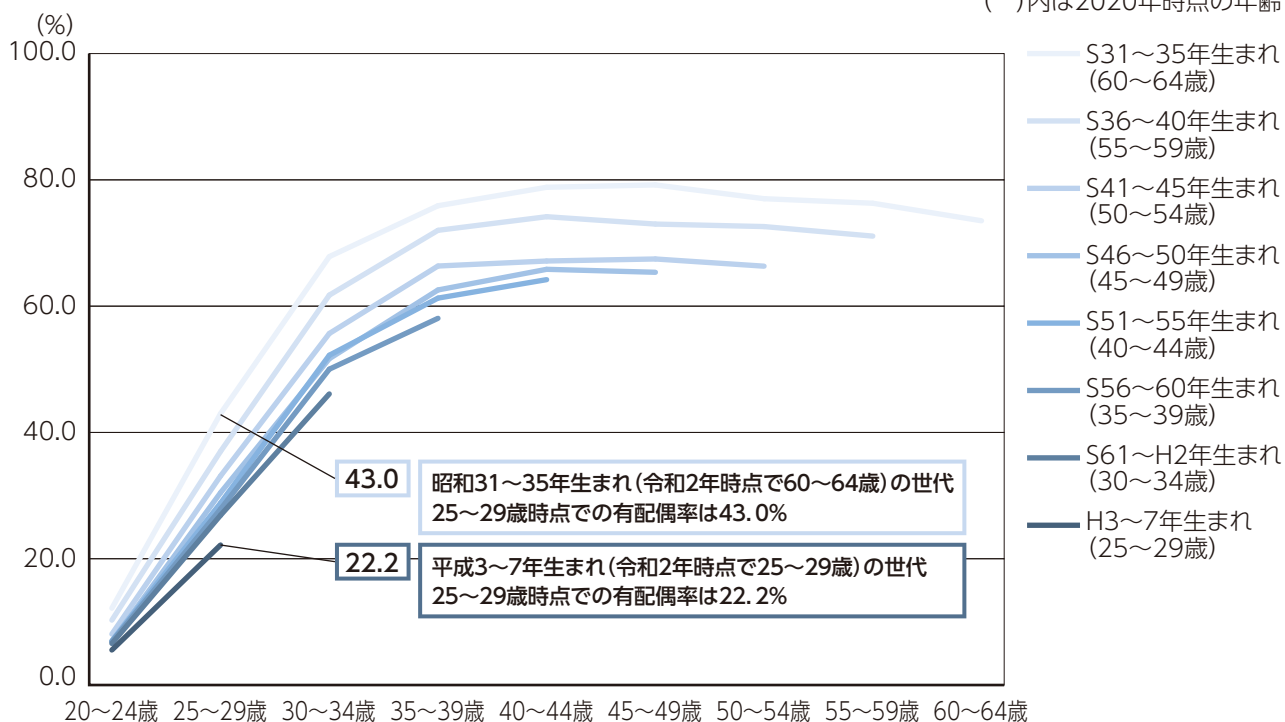


資料：厚生労働省「人口動態調査」
栃木県「栃木県保健統計年報」

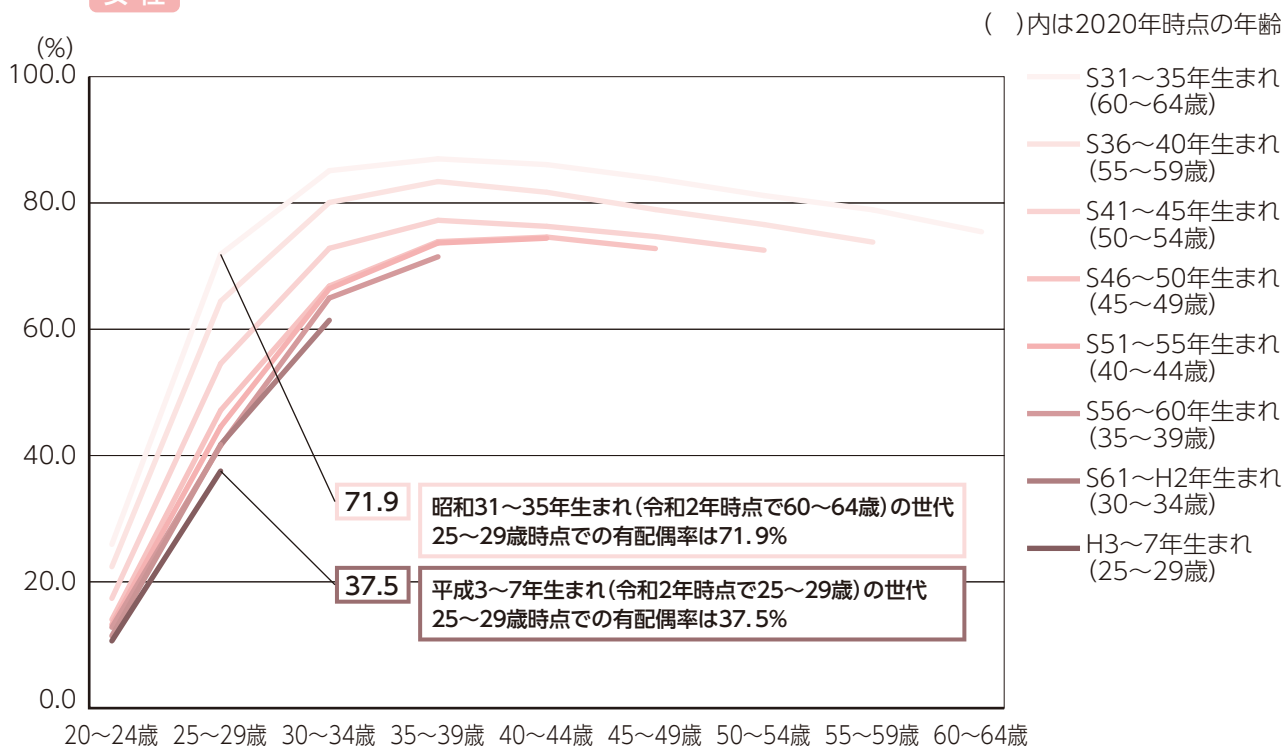
- 平均初婚年齢は、夫、妻ともに上昇が続いている。

コホートごとに見た有配偶率の推移（令和2年（2020）時点）【2 - 27】

男 性

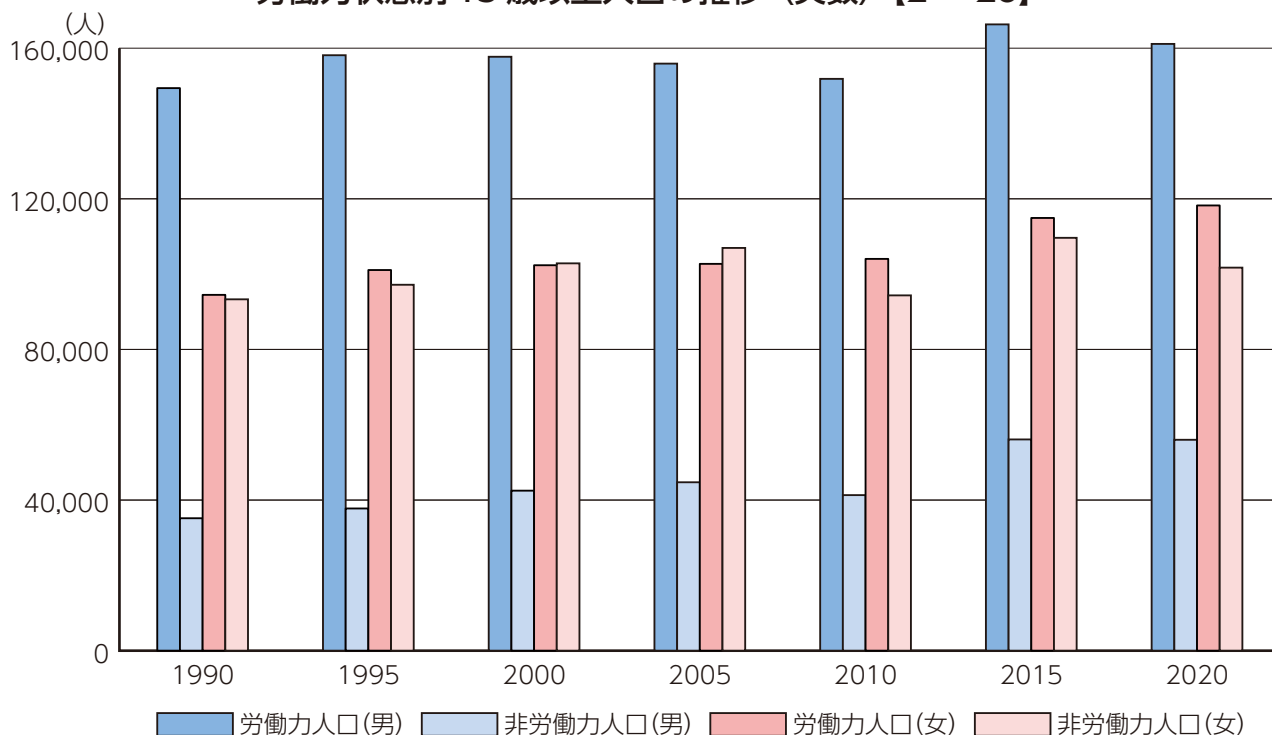


女 性



- これらのグラフは、有配偶率の推移をコホートごとに集計したもの
- コホートとは…ここでは同時期（5年間）に出生した集団のことをいう（≒世代）
- 各世代が、それぞれの年齢時期にどれくらいの有配偶率であったかを示す。
- 世代を追うごとに、男女ともほぼいずれの年齢においても有配偶率が低下している。

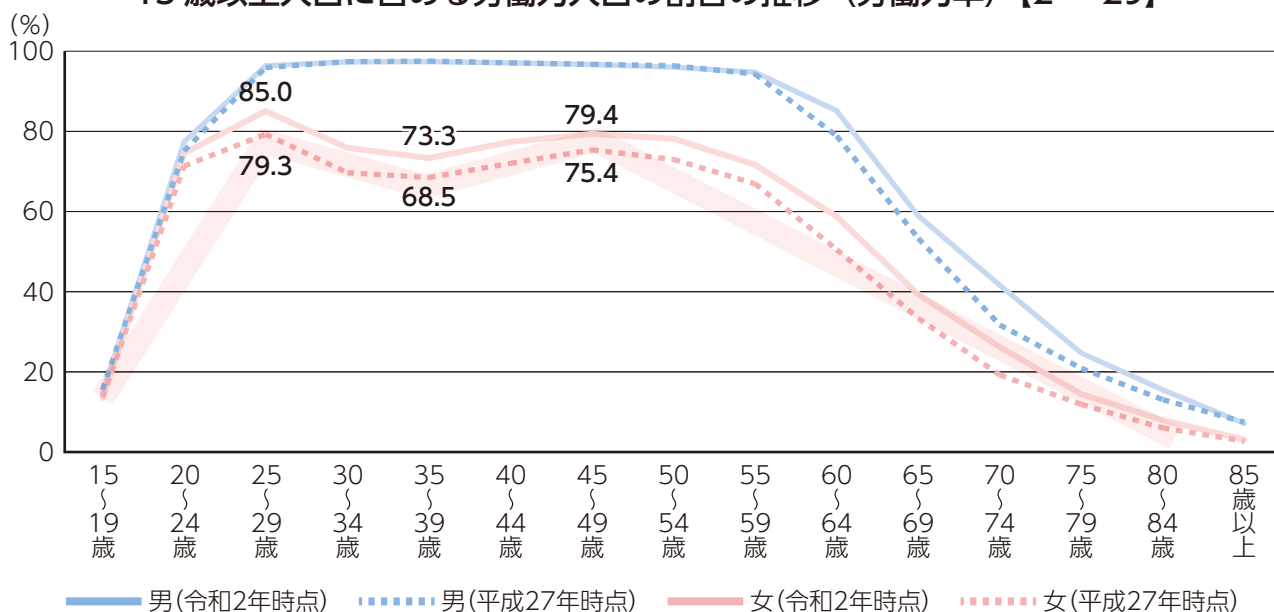
労働力状態別 15 歳以上人口の推移（実数）【2 - 28】



資料：総務省（国勢調査）

- 労働力人口とは……15 歳以上人口のうち就業者と完全失業者（求職活動をしていた者など）を合わせた人口
- 非労働力人口とは…15 歳以上人口のうち労働力人口以外の人口（通学、家事など）

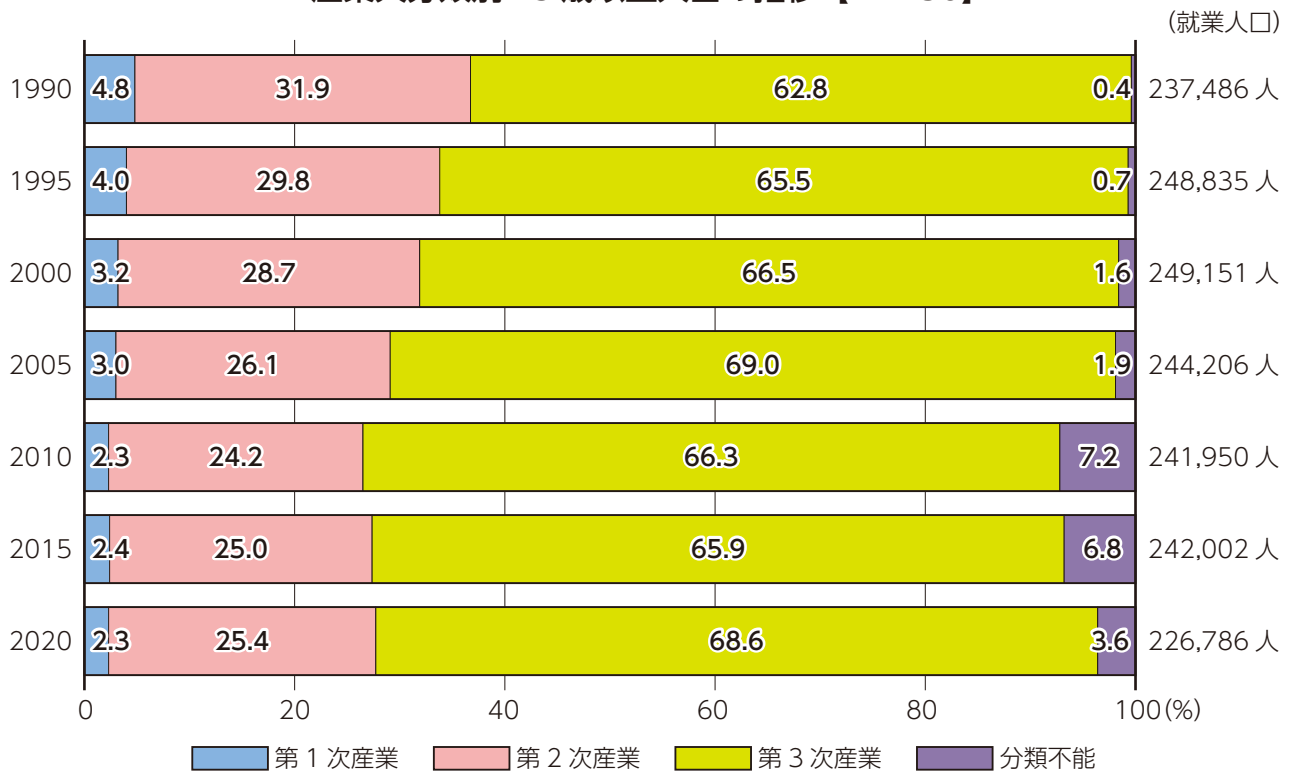
15 歳以上人口に占める労働力人口の割合の推移（労働力率）【2 - 29】



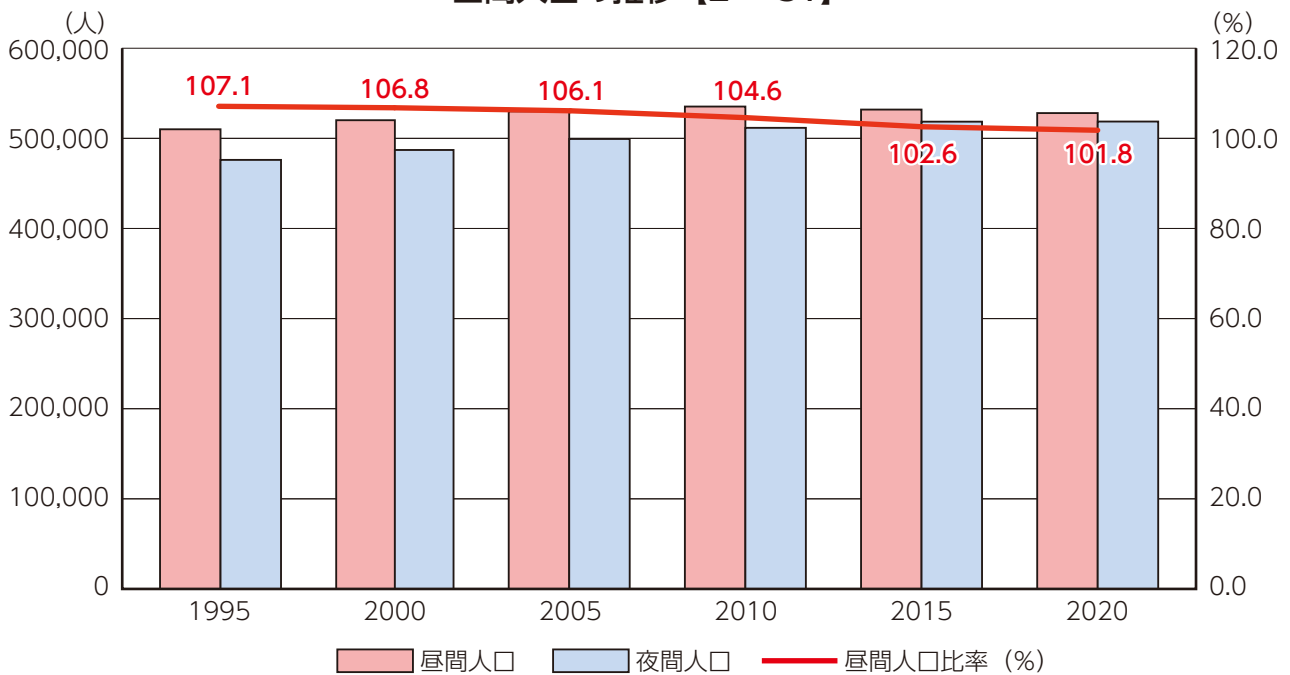
資料：総務省（国勢調査）

- 労働力率とは…15 歳以上人口に占める労働力人口の割合
- 男性は 25 歳から 59 歳までのすべての年齢階級で 90% 以上となっている。
- 女性は 35 ～ 39 歳で M 字カーブの底を迎えている。令和 2 年（2020）、は平成 27 年（2015）よりも M 字カーブの底が上昇している。
- M 字カーブとは…女性の労働力率は、結婚出産期に一旦低下し、育児が落ち着いた時期に再び上昇するという M 字型のカーブを描くことが知られている。

産業大分類別 15 歳以上人口の推移【2 - 30】

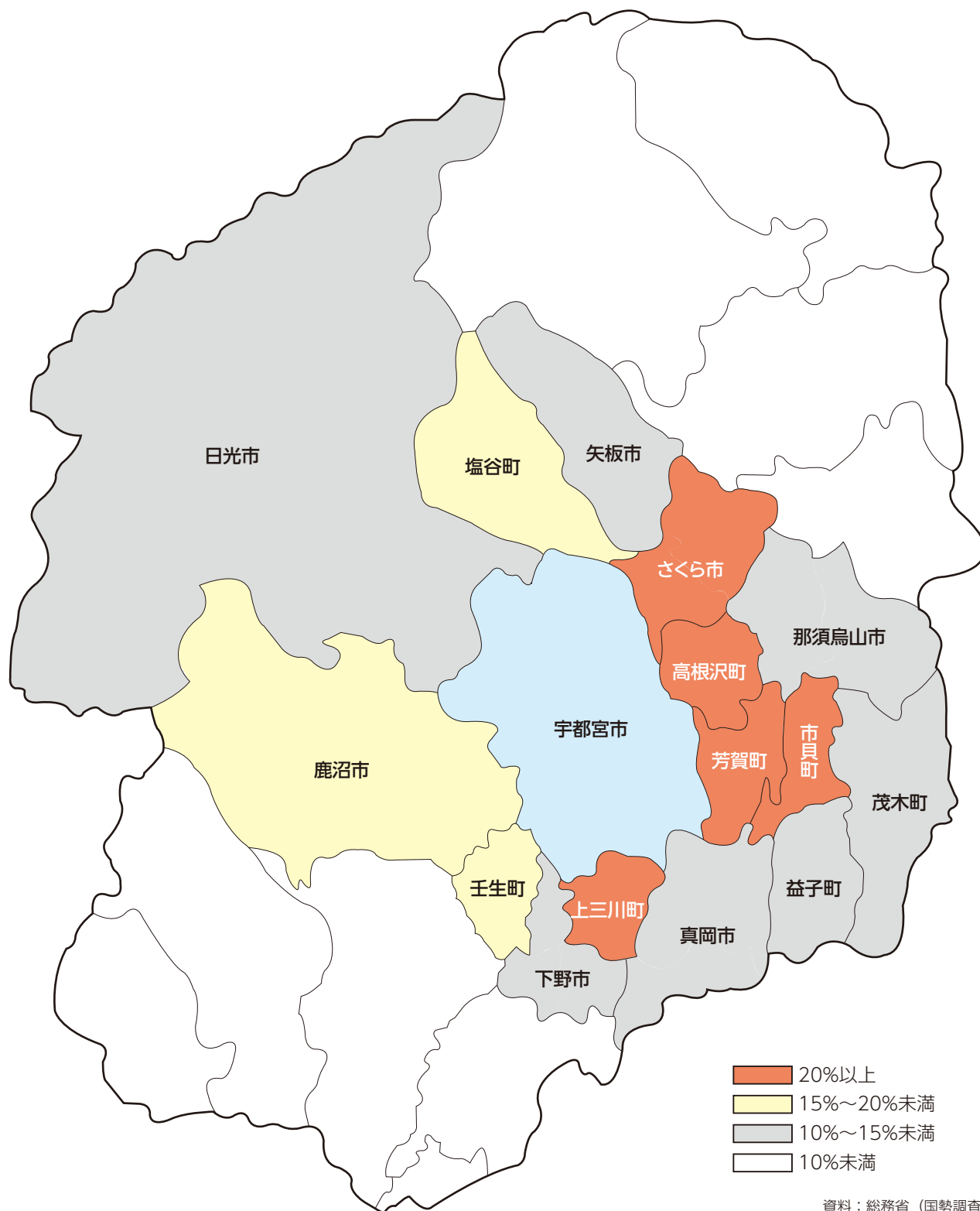


昼間人口の推移【2 - 31】



- 昼間人口とは………常住人口に、通勤・通学による他市町からの流入人口と他市町への流出人口を加減したもの
- 昼間人口比率とは…100 を上回ると昼間人口が常住人口を上回っている、100 を下回ると昼間人口が常住人口を下回っていることを示す。
- 本市の昼間人口比率は 100 を超過しており、通勤・通学による本市への流入人口が流出人口より多いことが分かる。

県内各市町からの就業者、通学者の流入状況（15歳以上）【2 - 35】

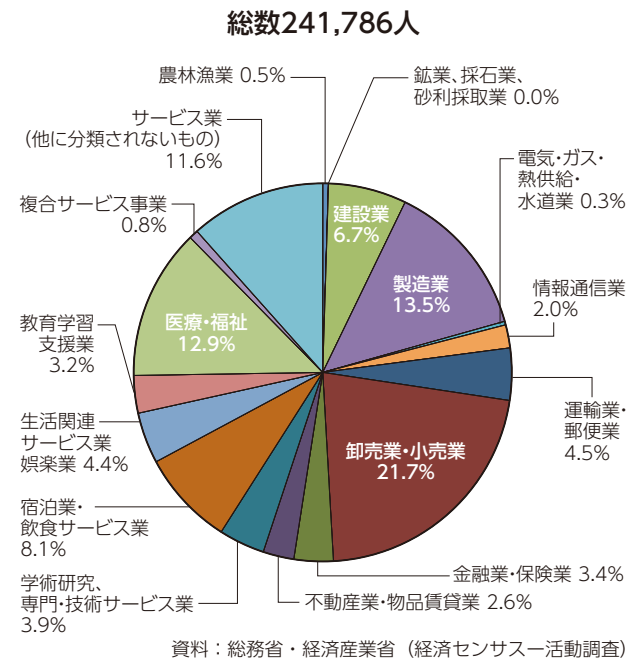
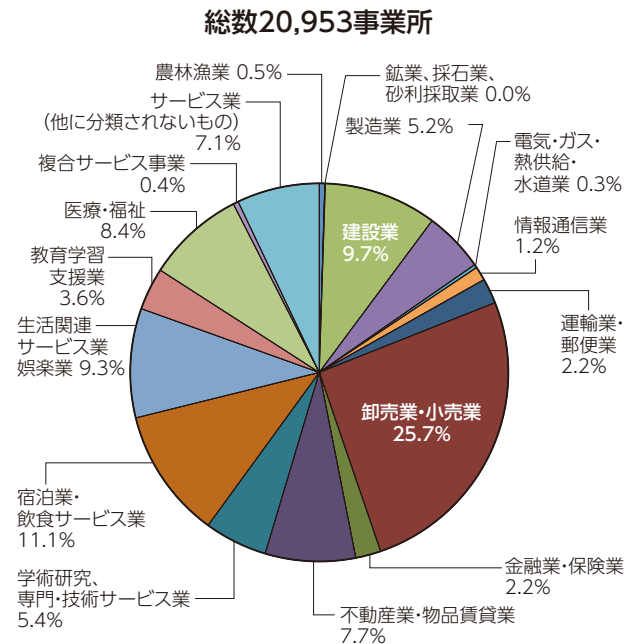


- 県内各市町の15歳以上人口のうち、宇都宮市に通勤・通学している者の割合を示したもの（令和2年(2020)10月1日時点）
- 高根沢町（27.9%）、芳賀町（26.1%）、上三川町（24.8%）、さくら市（21.4%）、市貝町（20.9%）、壬生町（18.5%）、鹿沼市（17.1%）、塩谷町（15.2%）、下野市（14.8%）、那須烏山市（14.1%）、益子町（12.2%）、真岡市（11.9%）、日光市（11.6%）、矢板市（10.6%）、茂木町（10.5%）の順で、本市への流入率が高い。



産業大分類別事業所数の構成比(令和3年)【3-1】

産業大分類別従業者数の構成比(令和3年)【3-1】

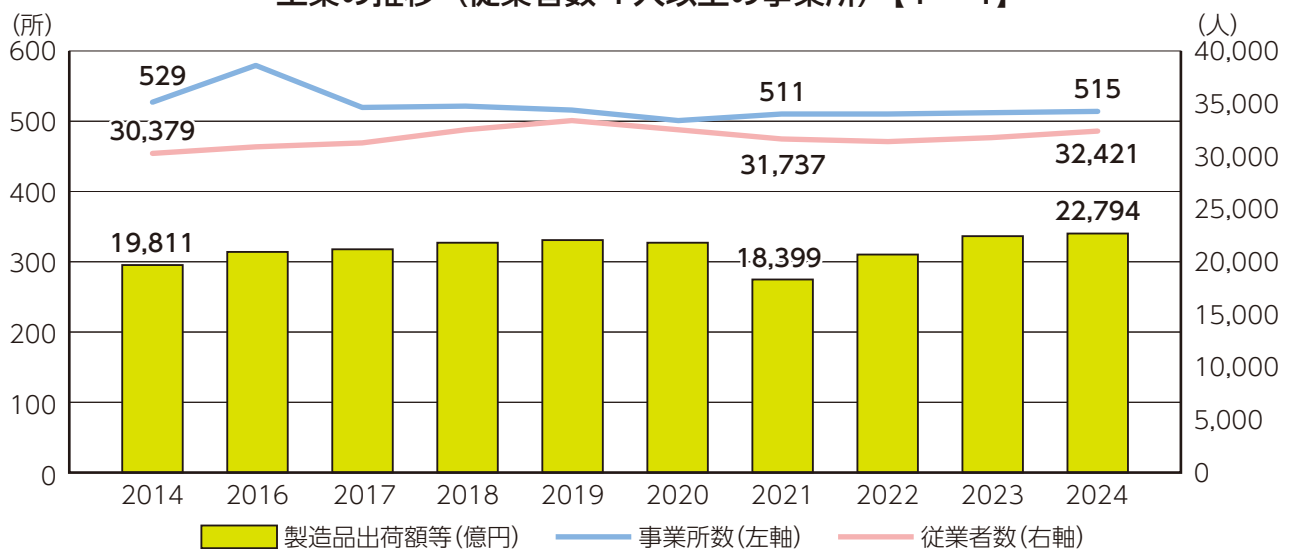


- 市内の事業所及びその従業者について、産業分類（大分類）に基づき市内事業所に占める構成比をグラフ化したもの
- 事業所について見ると、「卸売業・小売業」、「宿泊業・飲食サービス業」、「建設業」の順で事業所が多い。
- 従業者について見ると、「卸売業・小売業」、「製造業」、「医療・福祉」の順で従業者数が多い。

第4章 工業

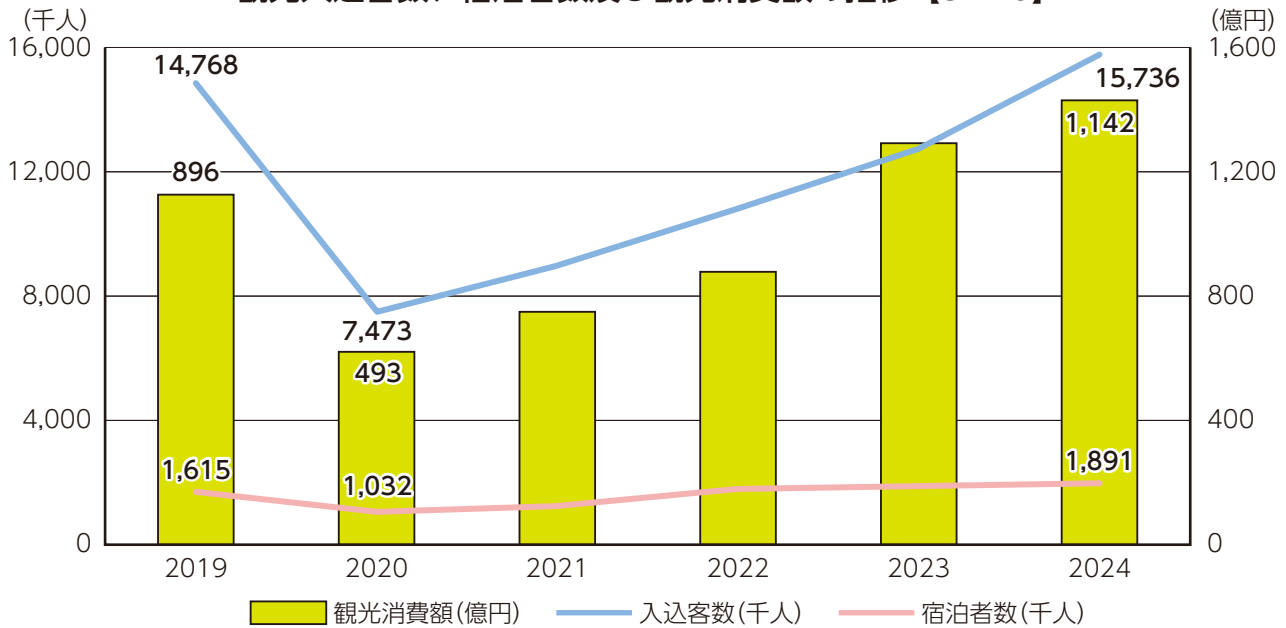


工業の推移（従業者数4人以上の事業所）【4-1】



- 従業者数4人以上の製造業事業所について、製造品出荷額、事業所数、従業者数の推移をグラフ化したもの
- 製造品出荷額については、令和3年(2021)にコロナに起因すると思われる下落が生じているものの、令和5年(2023)には令和2年(2020)以前の水準に回復している。
- 事業所数と従業者数については、ここ数年、おおむね横ばい状態にある。

観光入込客数、宿泊者数及び観光消費額の推移【5－8】

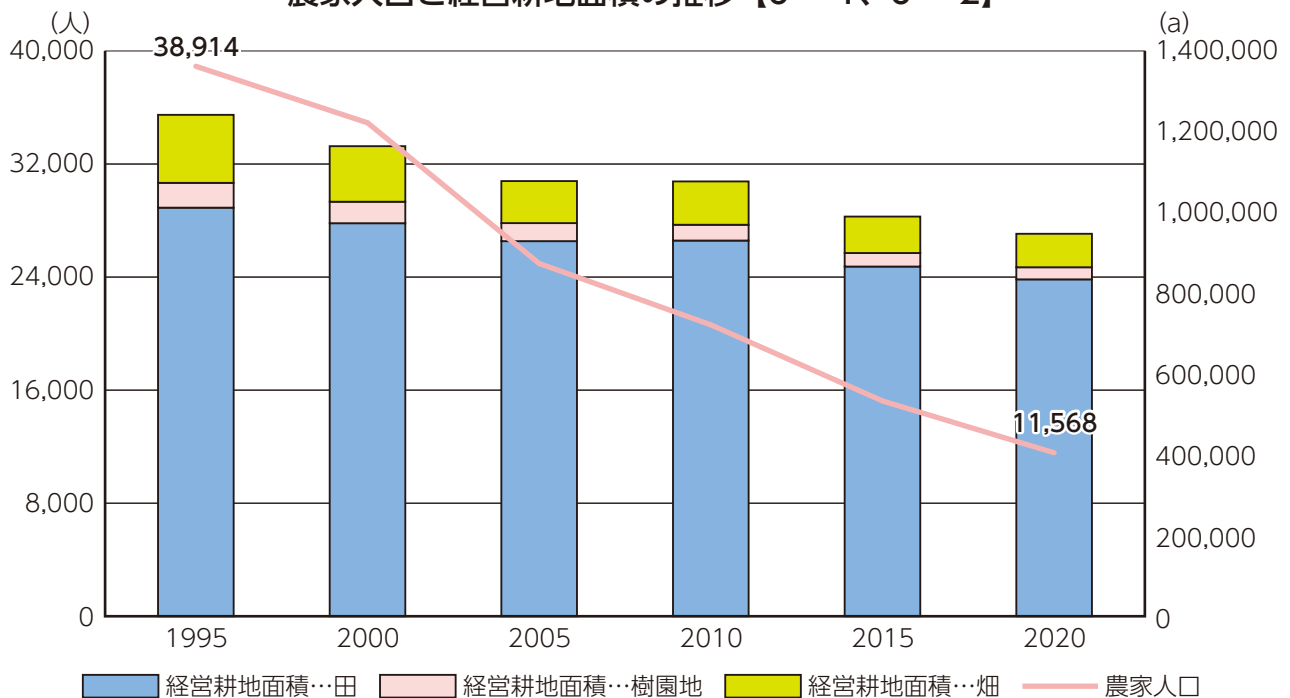


資料：宇都宮市観光動態調査報告書

- 本市の入込客数と観光消費額は、令和2年（2020）にコロナの影響を受けて大きく減少した。
- 令和3年（2021）以降、入込客数と観光消費額はともに回復を続けている。観光消費額は、令和5年（2023）にコロナ以前の水準を超過し、令和6年（2024）はさらに増加している。

第6章 農業

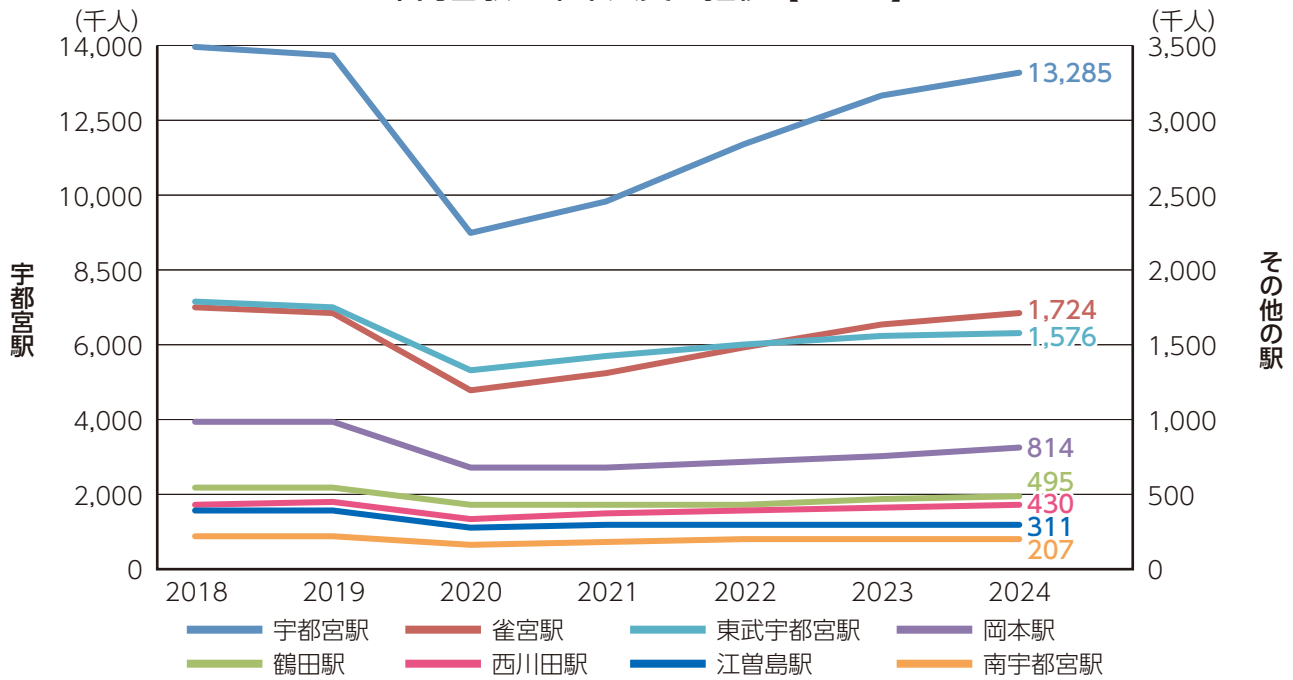
農家人口と経営耕地面積の推移【6－1、6－2】



資料：農林水産省（農林業センサス）

- 農家人口と経営耕地面積は減少傾向にある。

市内各駅の乗車人員の推移【8 - 4】

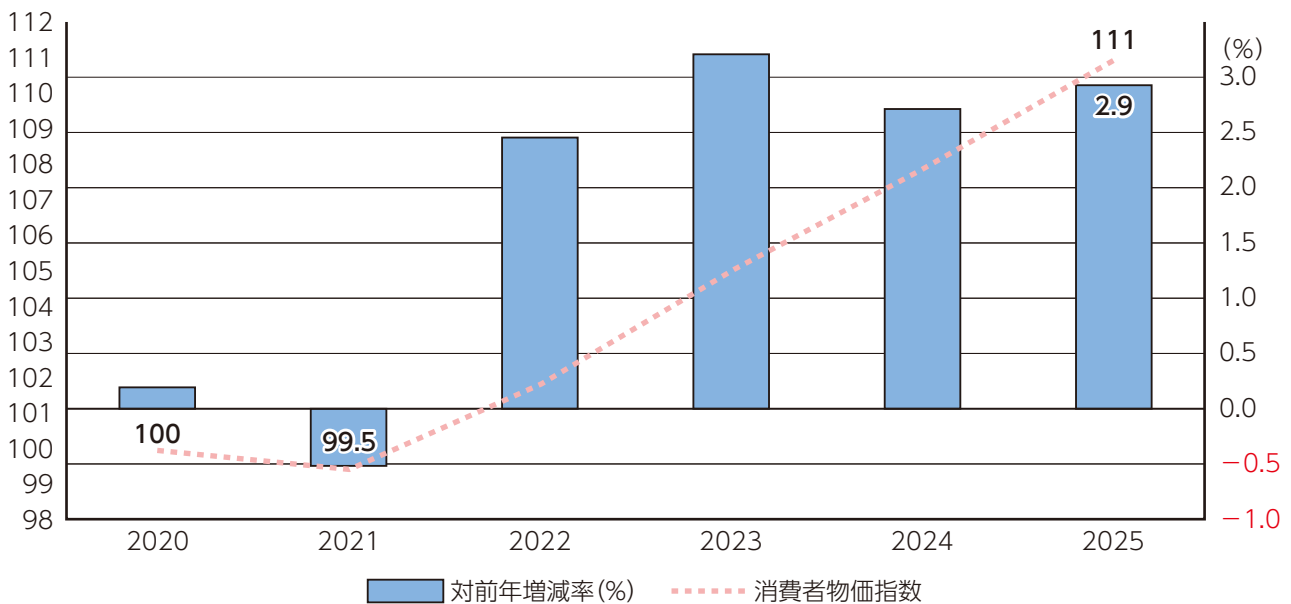


資料：東日本旅客鉄道(株)大宮支社
東武鉄道(株)鉄道事業本部

- 各年度中における市内各駅乗車人員の推移をグラフ化したもの

第8章 市民生活

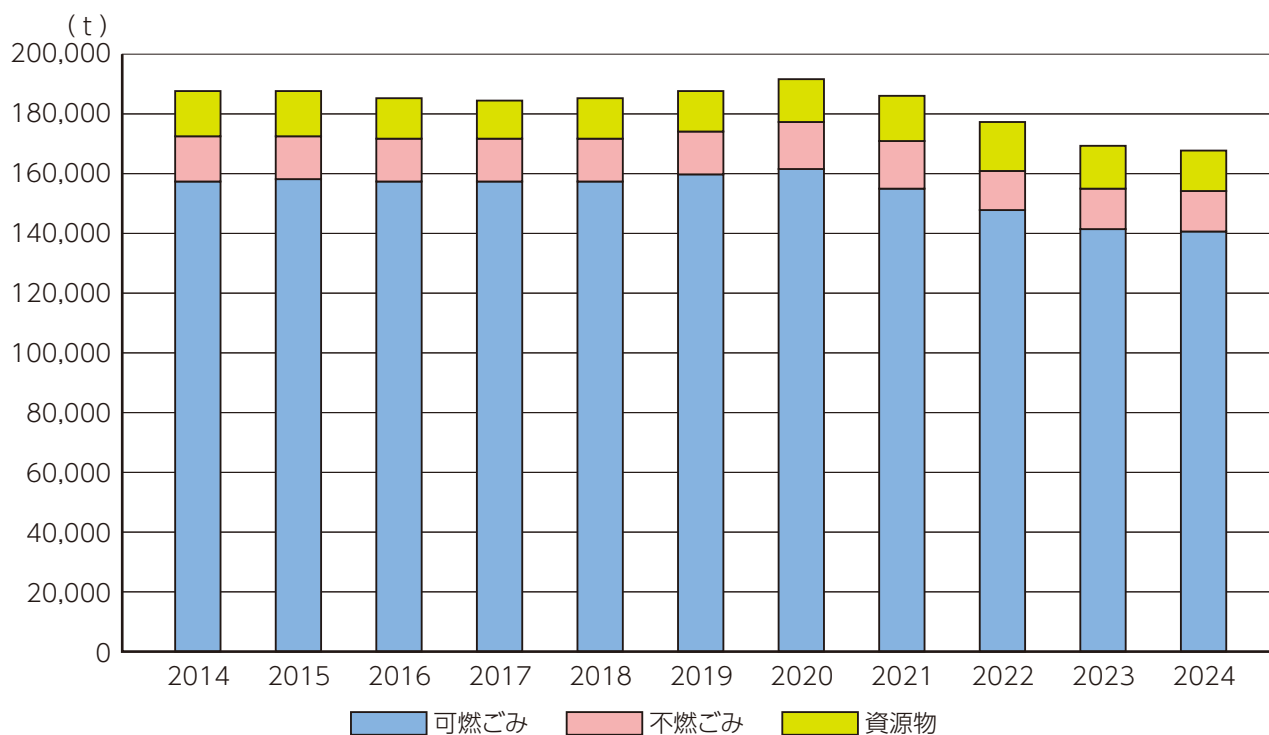
本市における消費者物価指数（2020年基準）の推移【9 - 1】



資料：総務省統計局「消費者物価指数年報」

- 消費者物価指数とは…消費者が購入するモノやサービスなどの物価の動きを把握するための統計指標。基準年の物価を100として算出（現在は令和2年（2020）が基準）
- 令和2年（2020）以降、モノやサービスの値段は上昇している。

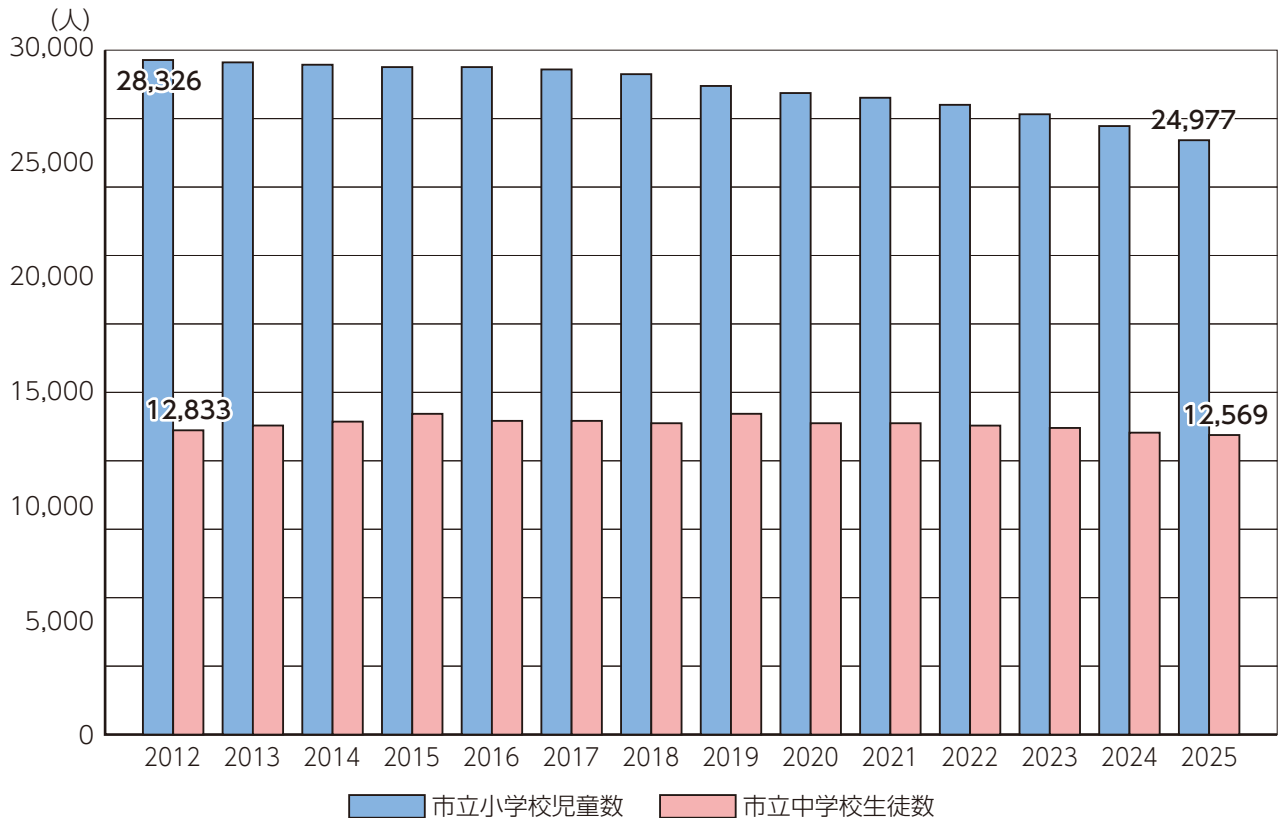
ごみ処理状況の推移【11 - 1】



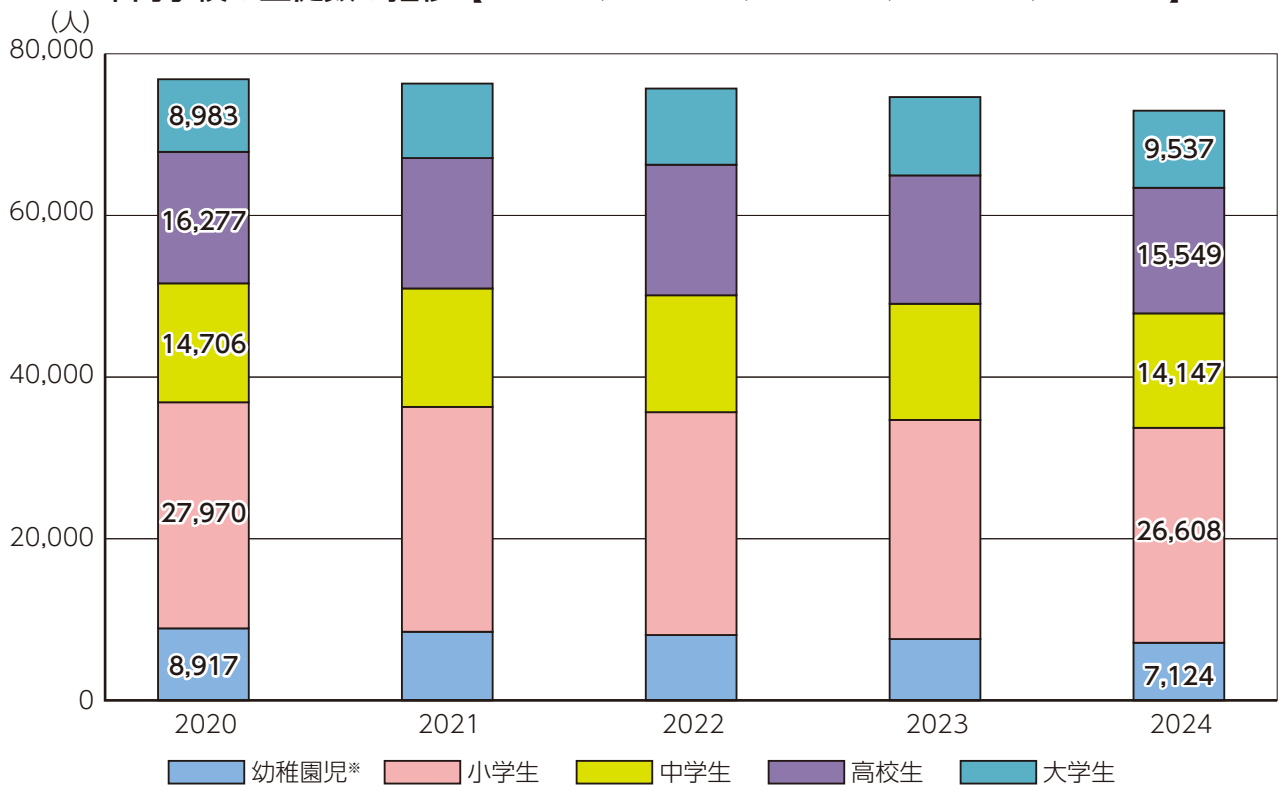
資料：廃棄物施設課

- ごみ処理状況の推移（各年度中）をグラフ化したもの
- なお、処理量には上三川町、旧石橋町を含むが、令和5年度から旧石橋町は家庭系自己搬入ごみのみとなっている。

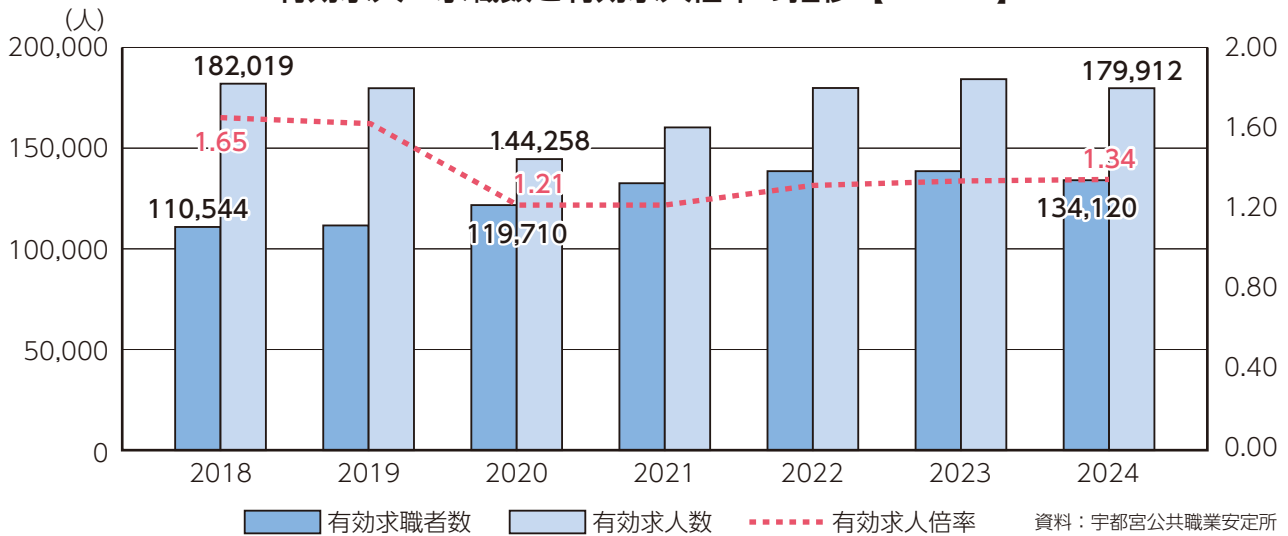
市立小・中学校、児童・生徒数の推移【12－11】



市内学校の生徒数の推移【12－2、12－4、12－5、12－6、12－7】



有効求人・求職数と有効求人倍率の推移【14－2】

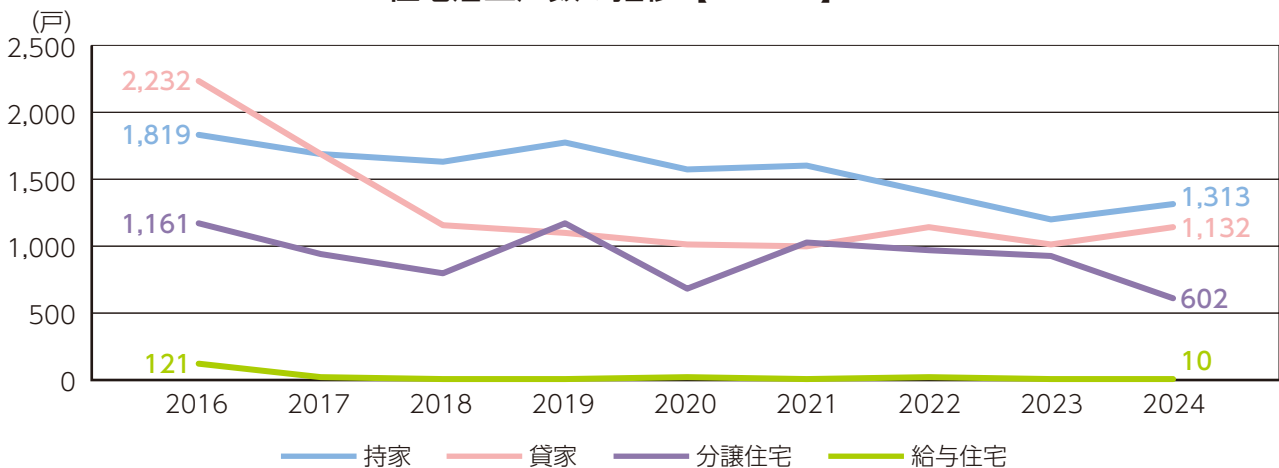


- 有効求人数は令和2年（2020）に大幅な減少を見せた後、令和4年（2022）には令和元年（2019）以前の水準に回復している。
- 一方、有効求職者数は令和2年（2020）から増加傾向にある。
- 有効求人倍率は令和2年（2020）に前年比で約0.4ポイント減少した後、約1.2から約1.3で推移している。
- 有効求人倍率とは…ハローワークにおける「有効求人数 / 有効求職者数」で求められ、1人当たり何件の求人があるのかを示す。
- 以上は、宇都宮公共職業安定所管轄区域内（宇都宮市、上三川町、高根沢町）の数値である。

第12章 建設・住宅

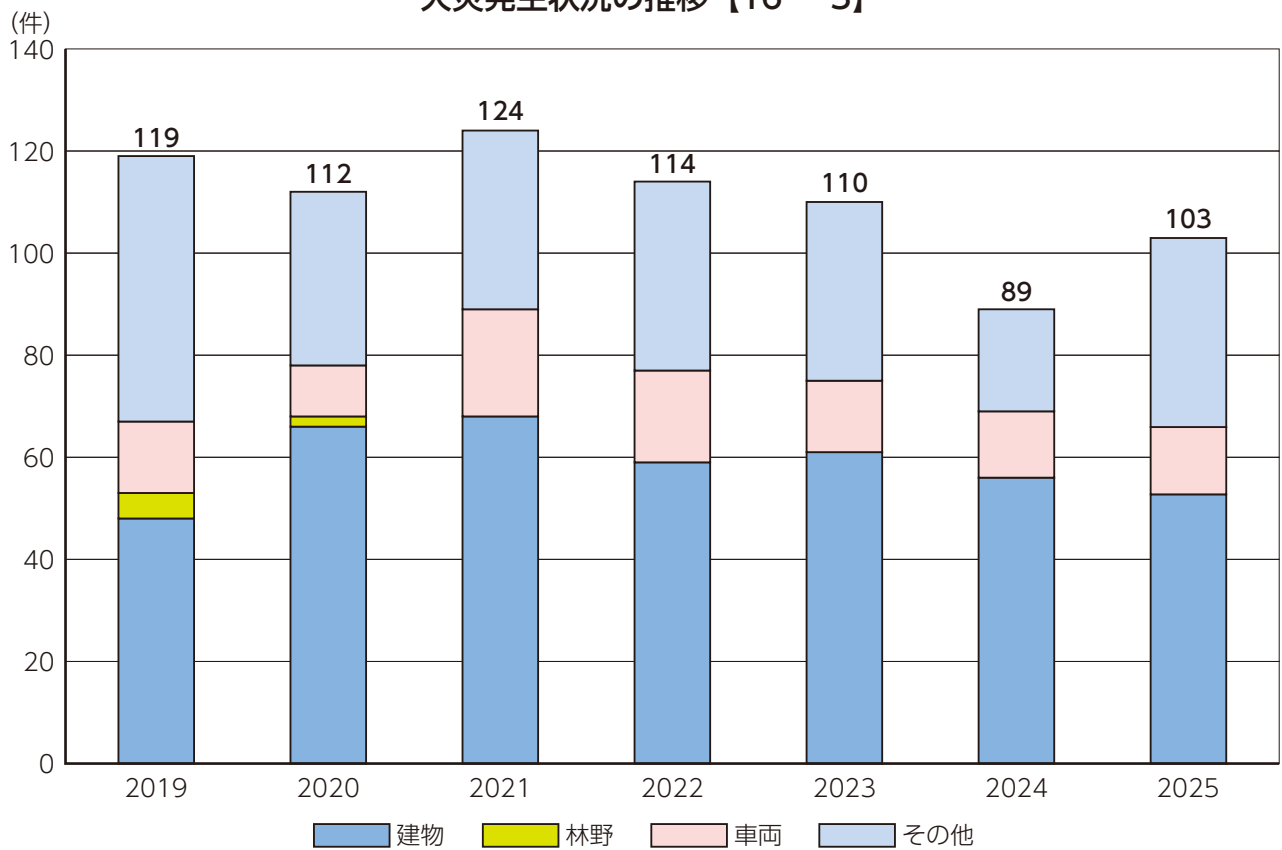


住宅着工戸数の推移【15－6】



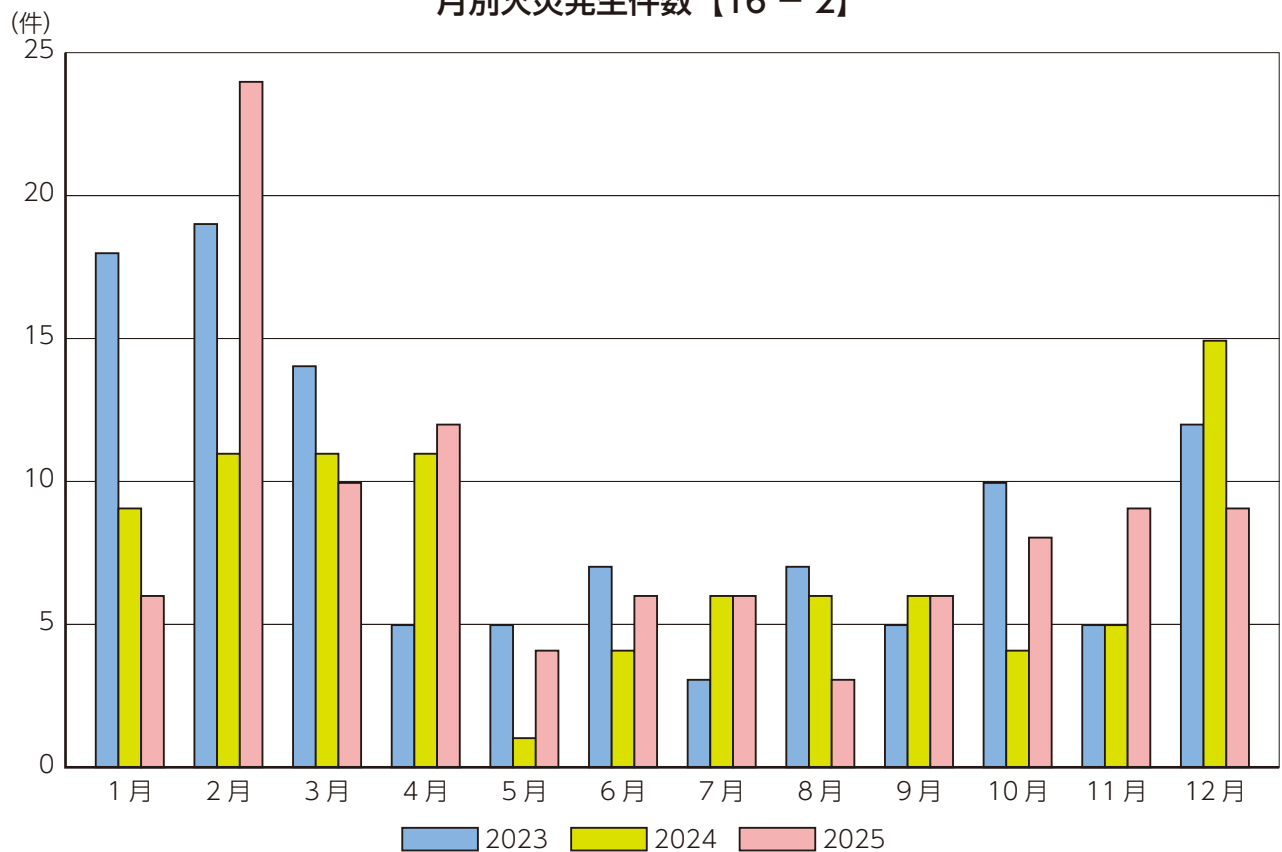
- 住宅着工戸数のうち、持家及び貸家は減少傾向にあるが、分譲住宅は変動を繰り返しつつおおむね横ばいの状態にある。
- 住宅投資は多額の資金を要し、景気の影響を受けやすい。このため、住宅の着工数は、一般的に経済の将来動向を見極める際の参考として見られている。
- 持家とは…建築主が自分で居住する目的で建築するもの
- 貸家とは…建築主が賃貸する目的で建築するもの
- 分譲住宅とは…建て売り又は分譲の目的で建築するもの
- 給与住宅とは…会社や官公署等が社員や職員等を居住させる目的で建築するもの

火災発生状況の推移【16－3】



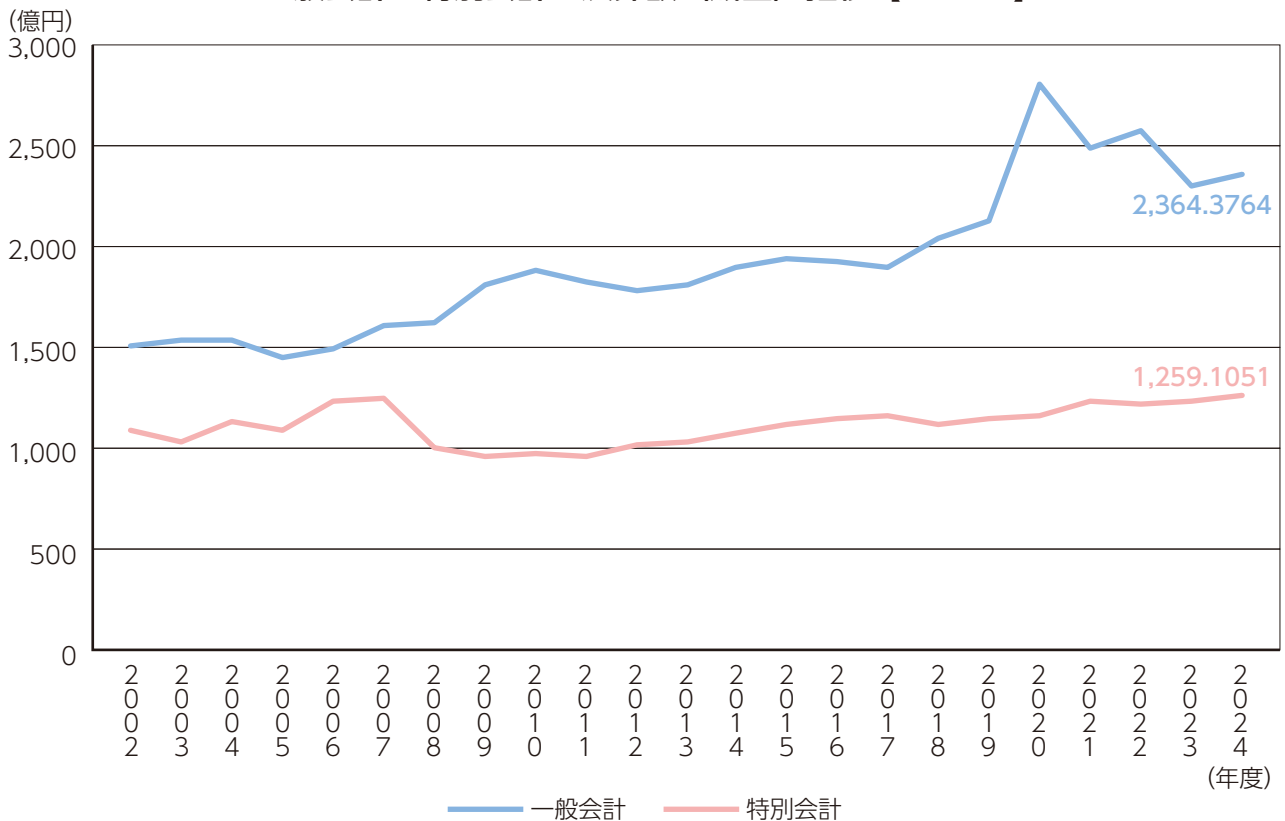
資料：消防局

月別火災発生件数【16－2】



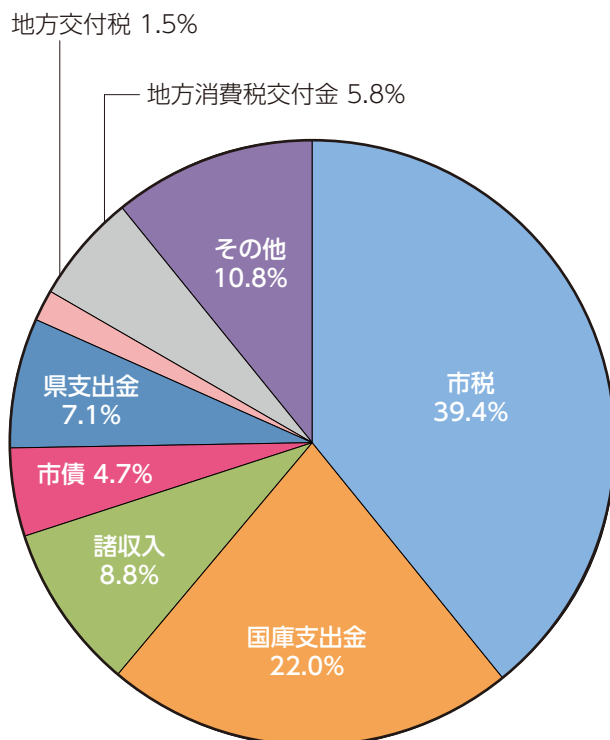
資料：消防局

一般会計、特別会計の決算額（歳出）推移【17－1】

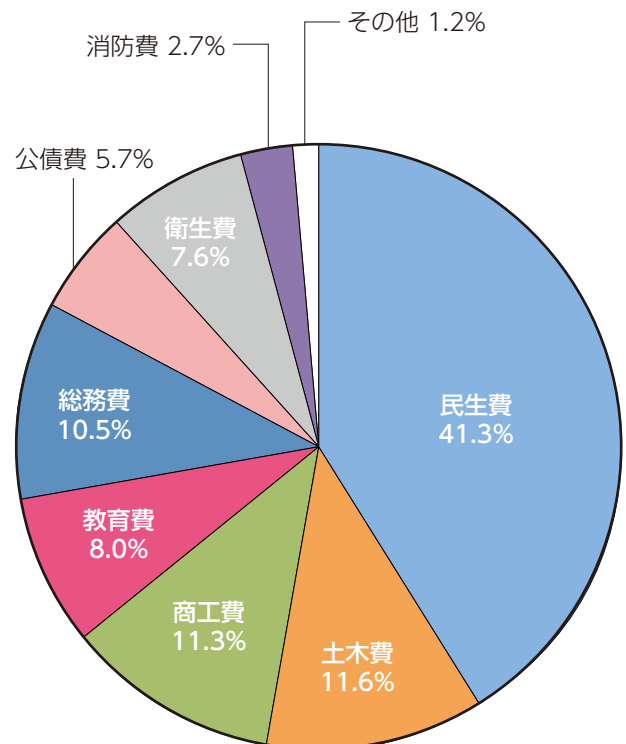


一般会計の項目別歳入歳出決算額（令和6年度）【17－3】

歳入 242,716,210千円



歳出 236,437,643千円



資料：財政課「予算参考書」
「主要な施策の成果報告書」

